

ビデオカセット レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全の
ために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管して
ください。

VHS Hi-Fi Hi8**WV-H3**

必ずお読みください

箱を開けたら

「設置と準備(27ページ)」を行ってから、ビデオをお使いください。

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

本機やテープなどを使用中、万一これらの不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

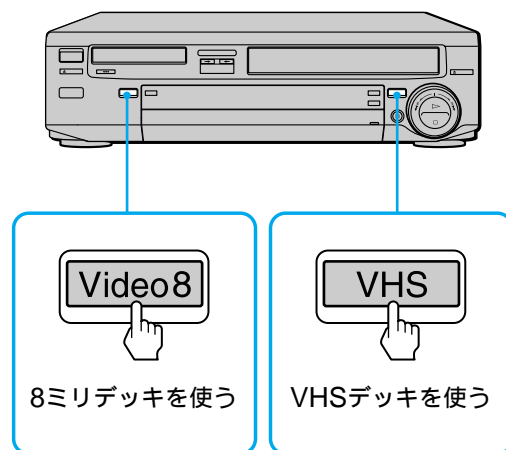
あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

次のようなことはできません

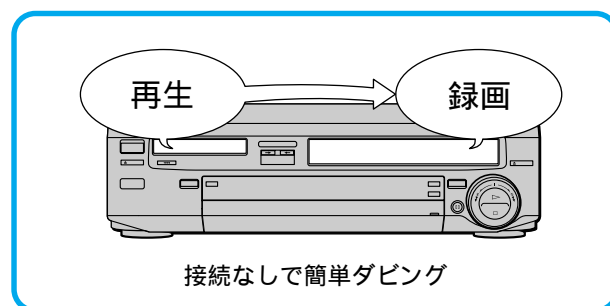
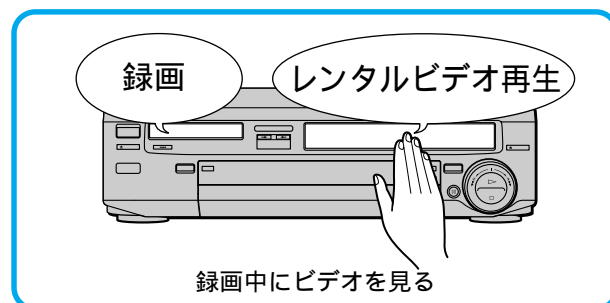
- ー市販のビデオソフトの編集・ダビング
- ー8ミリデッキとVHSデッキで同時にテレビ放送を録画する
- ー8ミリデッキとVHSデッキで同時に入力端子からの映像を録画する

本機の特長

WV-H3は、ハイエイトビデオデッキとVHSビデオデッキをひとつにまとめたダブルビデオです。どちらのデッキを操作するか、ボタンを押して選びます。



本機ではこんなことができます



目次

基本

ここだけ
読んでも
使えます

ビデオを見る	4
録画する	5
予約する	6
ダビングする(おまかせダビング)	8

応用

再生	
音声を切り換える	9
CMを飛ばす	9
高速で巻き戻す(8ミリのみ)	10
速さを変えて見る	10
見たい場面を探す	11
番組を頭出しする(VHSのみ)	12
コマ送りで見える / スローで見える	13
画面表示やテープ残量を見る	14
録画・予約	
予約を確認する・変更する・取り消しする	15
時間を決めて録画を止める (クイックタイマー)	17
画質調節・設定	
画像と音声を調整する(トラッキング) (VHSのみ)	17
ワイドテレビに合わせて画質を補正する	18
お買い上げ時の設定を変える(メニュー)	19
その他	
8ミリとVHSを同時に使う	20

編集(ダビング)

テープの途中からダビングする	21
好きな場面だけ編集する	23
お手持ちのビデオとつないで編集する	25

設置と準備

設置と準備の進めかた	27
準備1: 付属品を確かめる	27
準備2: アンテナとテレビをつなぐ	28
準備3: リモコンで時計を合わせる	32
準備4: チャンネルを合わせる	34
時計を自動補正する(ジャストクロック)	35
チャンネル設定を変える (手動チャンネル合わせ)	36
リモコンで各社のテレビを操作する	38
受信状態を微調整する	39

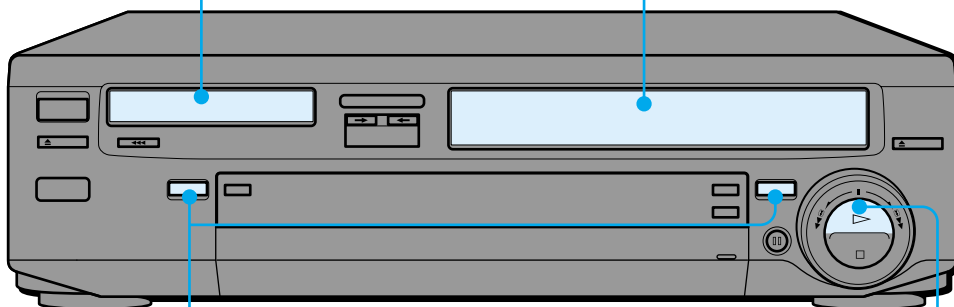
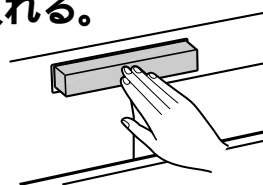
その他

使えるテープと再生・録画方式について	40
故障かな?と思ったら	41
ヘッドのお手入れ - きれいな画像にするために	43
保証書とアフターサービス	44
主な仕様	45
各部のなまえ	46
用語解説	51
索引	裏表紙

ビデオを見る

- 1** テレビの電源を入れて、
テレビの入力を「ビデオ」
に切り換える。

- 2** カセットを入れる。
電源が自動的に
入ります。



- 3** 再生するデッキを選ぶ。

8ミリデッキ

VHSデッキ



- 4** 再生ボタンを押す。

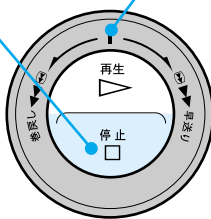


こんなときは

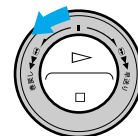
再生を止めるときに押す

再生を一時停止するときを押す
もう一度押すか5分以上たつと、
再生に戻ります。

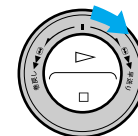
一時停止



巻き戻すときは
停止中に左いっぱいまで回して
離す。
見ながら巻き戻すときは、再生
中に左いっぱいまで回す。



早送りするときは
停止中に右いっぱいまで回して
離す。
見ながら早送りするときは、再生
中に右いっぱいまで回す。



ご注意

- 小さなお子様がカセット挿入口に手を入れないように
ご注意ください。けがをすることがあります。
- カセット挿入口に8ミリまたはVHSカセット以外のもの
を入れないでください。故障の原因になります。

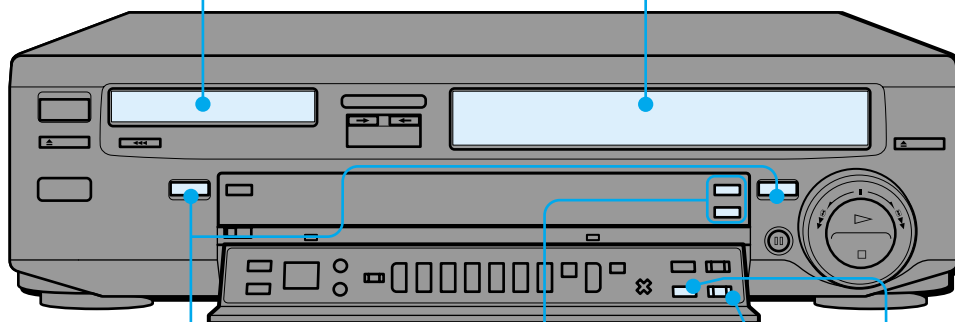
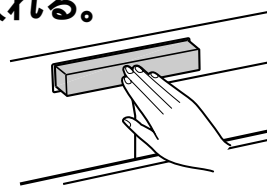


- 片方のデッキを使用中に、もう片方のデッキでビデオ
を見られます。手順3で使用していないデッキを選ん
でください。(20ページ)
- ワイドテレビでご覧の場合はワイドテレビ用の画質に
補正できます。(18ページ)

録画する

1 テレビの電源を入れて、
テレビの入力を「ビデオ」
に切り換える。

2 カセットを入れる。
電源が自動的に
入ります。



標準 / 3倍・SP / LPボタン

3 録画するデッキを
選ぶ。

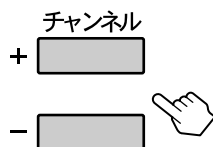
8ミリデッキ VHSデッキ

Video8

VHS



4 録画するチャン
ネルを選ぶ。



5 録画ボタンを
押す。

テレビの電源を切っ
ても、正しく録画できま
す。



1本のカセットに長時間録画するとき

手順5の前に、標準/3倍・SP/LPボタンを押して表示窓に「LP」または「3倍」を出します。8ミリの場合「LP」で「SP」の2倍、VHSの場合「3倍」で「標準」の3倍録画できます。画質はそれぞれ「SP」「標準」の方が優れています。

裏番組を見るとき

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、チャンネルを選びます。録画に影響はありません。



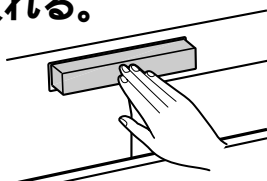
- 片方のデッキを使用中に、もう片方のデッキで録画できます。手順3で使用していないデッキを選んでください。(20ページ)
- 片方のデッキで録画中にもう片方のデッキで予約録画が始まると、録画は自動的に停止し、予約録画が始まります。
- 録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。
- 入力端子につないだ機器からの画像を録画するとき、チャンネル+/- ボタンで「L」を選びます。

予約する

1

カセットを入れる。

電源が自動的に入ります。



2

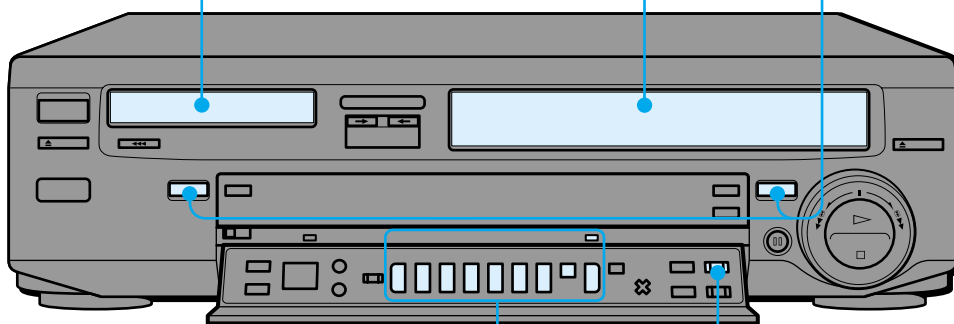
予約するデッキを選ぶ。

8ミリデッキ

Video8

VHSデッキ

VHS



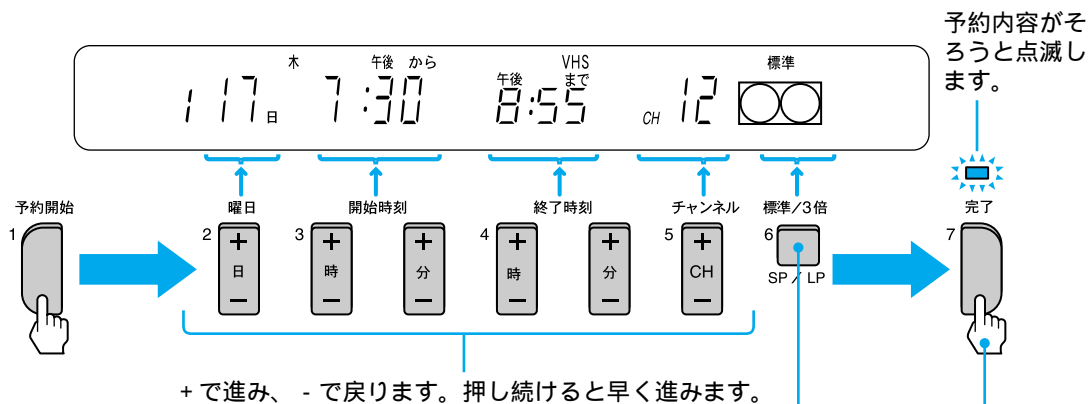
予約録画(入/切)ボタン

3

表示窓を見ながら、予約する。

1か月先までの番組を、8ミリとVHSそれぞれ6つずつ、合計12まで予約できます。

下の表示窓の図は、17日(木)の午後7:30から午後8:55まで、12チャンネルをVHSで予約するときの例です。



長時間録画のときは「3倍」(8ミリの場合「LP」)に

ピーと鳴って電源が切れます。表示窓に「予約録画」が表示され、予約待機(予約録画待ち)になります。

続けて予約するときは、手順2から繰り返します。

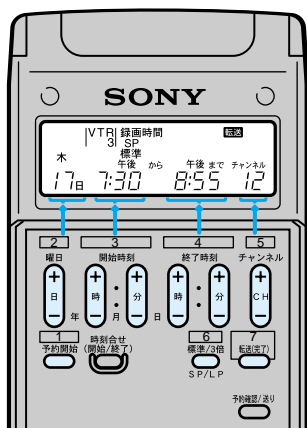
予約した後に本機を使うとき

予約の入っていないデッキは、そのまま電源を入れて使えます。

予約が入っているデッキを使うときは、予約録画(入/切)ボタンを押して表示窓の「予約録画」を消します。使い終わったあとは、予約用のテープを入れて、予約開始時刻になる前に予約録画(入/切)ボタンを押してください。

リモコンで予約するとき

- 1 リモコンのオモテ面のVideo8ボタンまたはVHSボタンを押して、予約を入れるデッキを選ぶ。
- 2 リモコンのウラ面のフタを開け、表示窓を見ながら本体と同じ要領で合わせる。
- 3 合わせた内容を確認し、本体に向けて転送(完了)ボタンを押す。
予約内容が本体に転送されます。転送されると、本体がピーと鳴って表示窓に予約内容が出た後、電源が切れます。



- 予約を途中でやめるときは予約取消しボタンを押してください。
- 予約録画を実行中にやめるときは予約録画(入/切)ボタンを押してください。
- 予約の変更・取り消しは「予約を確認する・変更する・取り消す(15ページ)」をご覧ください。
- 片方のデッキを使用中でも、もう片方のデッキに予約を入れることができます。
- 毎日または毎週同じ番組を予約するときは、日ボタンの-側を押して合わせます。次のように変わります。

今日(2/2) 毎日 毎週月~土 毎週月~金

1か月先の日(3/1) 毎週日 ... 毎週土

- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままです。終了時刻を合わせます。

ご注意

- ピピピという音がしたときは、予約が受けつけられない状態になっています。音とともにテレビ画面にメッセージが出ますので、それに従って操作してください。

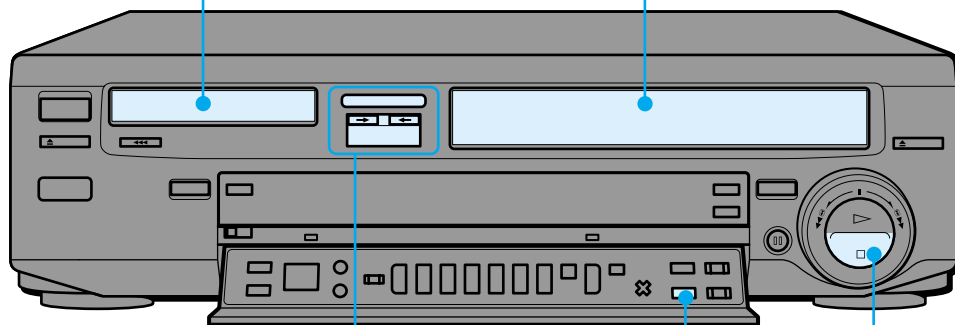
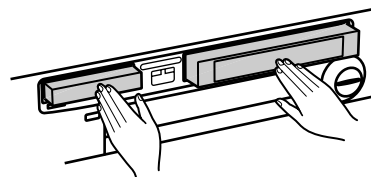
ダビングする (おまかせダビング)

テープの最初から終わりまで自動的にダビングします。テープの途中からダビングを始めるときは、「テープの途中からダビングする」(21ページ)をご覧ください。市販のビデオソフトなどはダビングできません。

1

録画側と再生側の カセットを入れる。

電源が自動的に入ります。



標準/3倍・SP/LPボタン

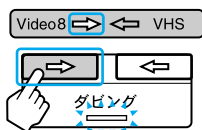
停止ボタン

2

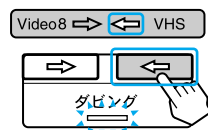
ダビングの方向を選ぶ。

大切な記録内容を消さないように、方向をしっかりと確認してください。

8ミリからVHSへ
ダビングするとき



VHSから8ミリへ
ダビングするとき

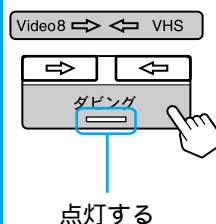


3

ダビングボタンを押す。

両方のテープが最初まで巻き戻り、自動的にダビングが始まります。

どちらかのテープが終わると両方のテープが最初まで巻き戻ります。カセットが出てきて、電源が切れます。



録画側を長時間録画に切り換えるとき

手順3の前に標準/3倍・SP/LPボタンを押して、表示窓に「LP」または「3倍」を出します。

ダビングをやめるとき

停止ボタンを押します。

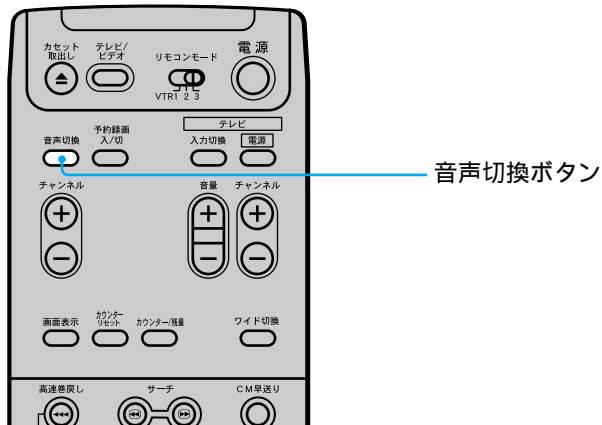
ご注意

- 二か国語放送のテープを8ミリにダビングするときは、メニューの「各種設定2」で「Video8音声入力」を「二重音声」にしてください。(20ページ)

- 二か国語放送のテープをダビングするときは、ダビングを始める前に1度再生しリモコンの音声切換ボタンでダビングしたい音声を選んでください。
- ご自分で録画したVHSテープでダビングの操作をすると、自動的にカセットが出てきて、ダビングできないことがあります。この場合は、カセットの誤消去防止用のツメを確認してください。ツメが折れているときは、セロハンテープなどでふさいで操作し、ダビング後は元に戻しておきましょう。大切な記録内容を誤って消さないよう、ダビングの方向には充分注意してください。
- ダビングしたテープの先頭部分の画像が乱れることがあります。

音声を切り換える

二か国語放送を録画したテープを再生するとき
は、聞きたい音声に切り換えてください。ステレ
オ放送を録画したテープは、自動的にステレオで
聞こえます。



音声切換ボタンを押す。
ボタンを押すたびに、聞こえる音声切り
換わります。



本体表示窓に出 る表示	再生時に聞こえる音声	
	二か国語放送	ステレオ放送
主/左・副/右* またはステレオ	主音声と副音声の混合	ステレオ
主/左	主音声	左チャンネル
副/右	副音声	右チャンネル
表示なし**	主音声	モノラル

* 8ミリのみ(二か国語放送かステレオ放送かを
自動判別します)

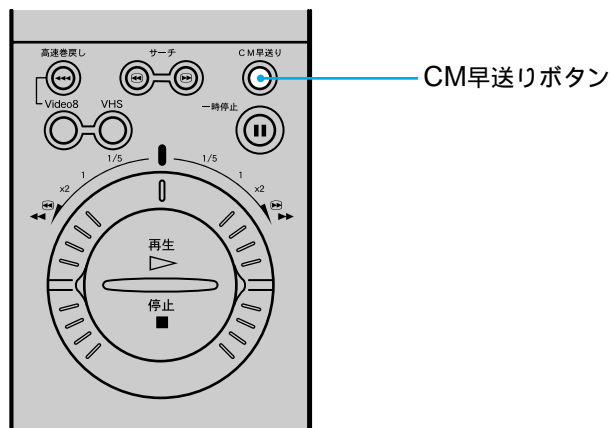
**VHSのみ

ご注意

- 音声切換ボタンは、次のとき働きません。
 - モノラルビデオで録画したテープを再生したとき(常にモノラル)
 - ステレオ放送を受信しているとき
- アンテナ線だけでテレビにつないだときは、音声は常にモノラルで聞こえます。

CMを飛ばす

30秒再生しながら早送りし、自動的にふつうの再生に戻ります。音声は出ません。



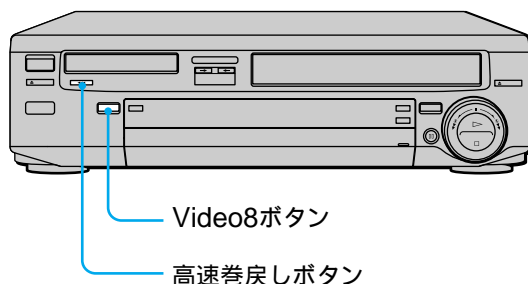
コマーシャルになったらCM早送り
ボタンを押す。

続けて押すと、押すたびに30秒ずつ、最長
2分間(4回押した分)まで再生しながら早
送りします。



高速で巻き戻す (8ミリのみ)

通常の巻き戻しよりも速く巻き戻すことができます。

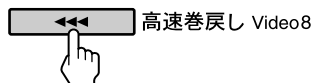


1 8ミリデッキを選ぶ。



2 高速巻き戻しボタンを押す。

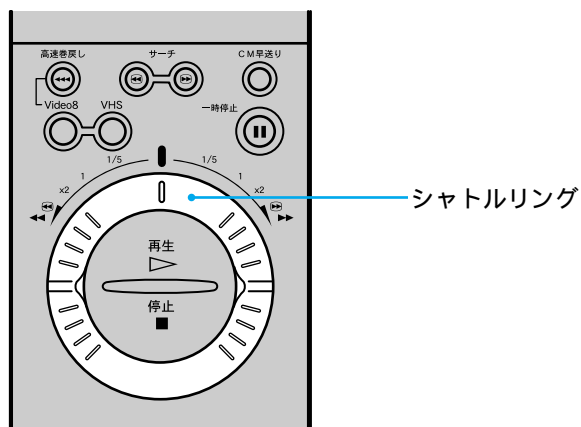
テープカウンターが - H - - M - - S になり巻き戻しが始まります。
テープの頭近くで1度停止してから再び巻き戻ります。



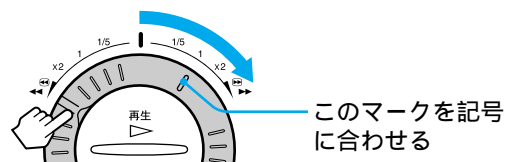
- 本体の高速巻き戻しボタンを押しながら再生ボタンを押すと、テープの頭まで巻き戻り、自動的に再生が始まります(オートプレイ)。

速さを変えて見る

シャトルリングを使って、いろいろな速さで画像を見ることができます。音声は出ません。本体でもできます。

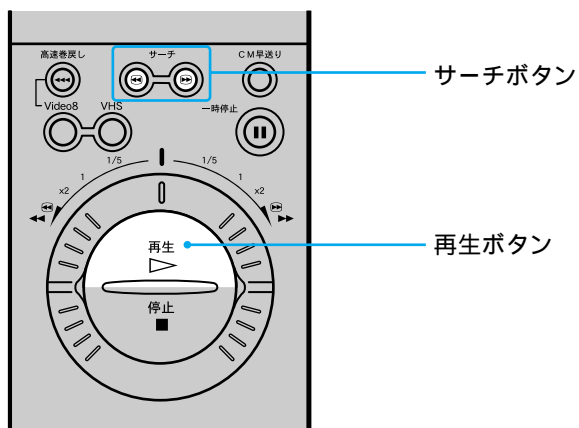


再生中または再生一時停止中にシャトルリングを回す。



合わせる記号	画像の動く速さ
1/5	スロー
1	ふつうの再生と同じ
x 2	2倍
▶/◀	見ながら早送り・巻き戻し

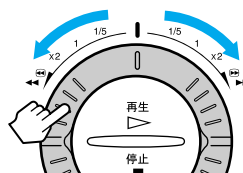
見たい場面を探す



早送り・巻き戻し中に見る

画像を見ずに早送りや巻き戻ししているときも、途中で画像を見ることができます。音声は出ません。

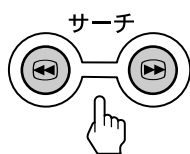
早送り中(巻き戻し中)に、シャトルリングを▶(◀)の位置まで回す。
回している間、早送り(巻き戻し)の画像が見られます。



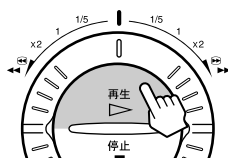
見ながら早送り・巻き戻しする

シャトルリングを使わなくても、画像を見ながら早送りや巻き戻しできます。音声は出ません。

- 1 再生中または再生一時停止中にサーチボタンを押す。



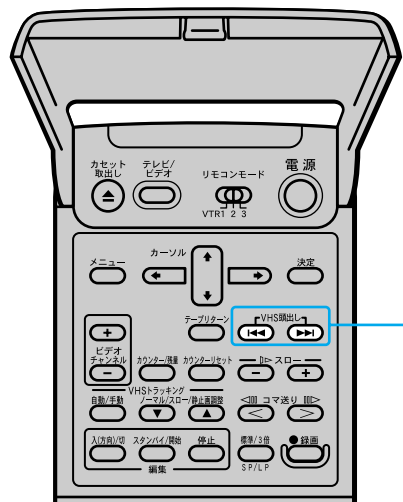
- 2 見たい場面になったら再生ボタンを押す。



- 本体のシャトルリングを左いっぱいまで回しながら再生ボタンを押すと、テープの頭まで巻き戻り、自動的に再生が始まります(オートプレイ)。

番組を頭出しする(VHSのみ)

いくつかの番組を1本のテープに録画したときは、各番組の頭出しができます。



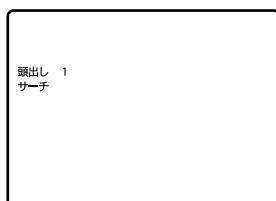
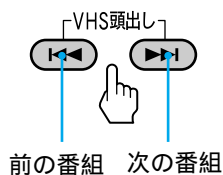
VHS頭出し
◀◀ / ▶▶
ボタン



- 頭出し信号は次のときに付きます。
 - 録画ボタンを押したとき
 - 録画一時停止中にチャンネルを変えて再び録画を始めたとき
 - 予約録画が始まったとき
- 「頭出し」表示が画面に出ないときは、メニューの「各種設定1」で「自動画面表示」を「入」にしてください。(19ページ)

VHS頭出し◀◀ / ▶▶ボタンをくり返し押して、頭出ししたい数を出す。

◀◀で前の番組を、▶▶で次の番組を頭出しします。頭出しの数が「0」になるまで巻き戻しまたは早送りして再生します。

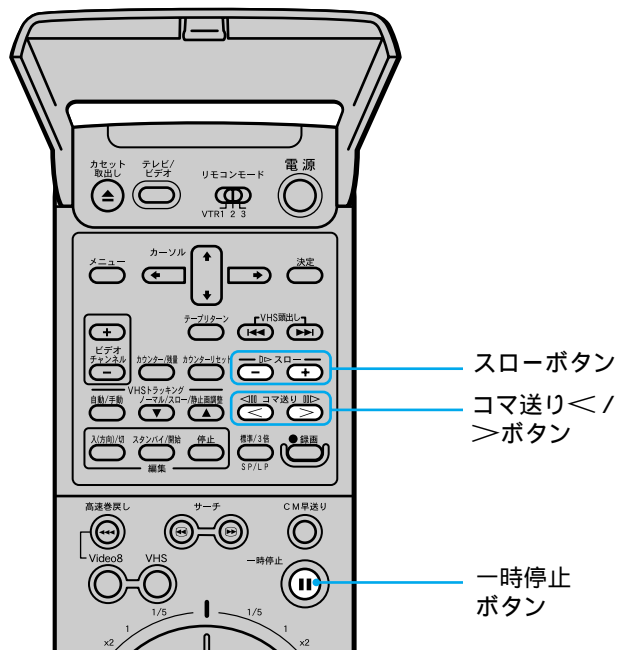


頭出ししたい数

-2	-1	1	2
前の番組	今の番組	次の番組	

コマ送りで見える / スローで見える

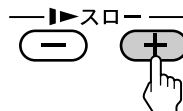
応用



スローで見える

音声は出ません。

再生中にスロー + ボタンを押す。



スロー再生の速さを変えるには
スロー + / - ボタンを押します。

スロー再生の向きを変えるには
コマ送り</>ボタンを押します。
>を押すと正方向に、<を押すと逆方向にスロー再生します。



- スローで見えているときに、8ミリは2分、VHSは5分以上たつと、自動的にふつうの再生になります。

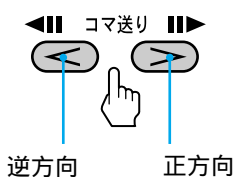
コマ送りで見える

画像を1コマずつ見ることができます。音声は出ません。

- 1 再生中に一時停止ボタンを押す。

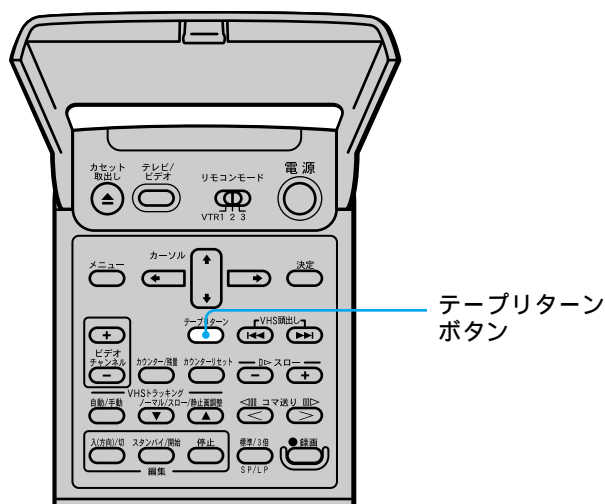
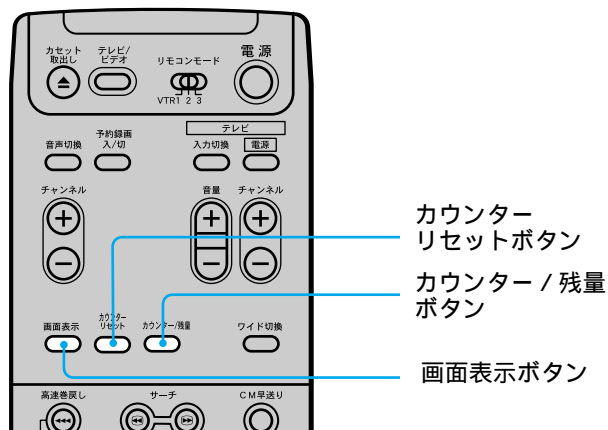


- 2 コマ送り</>ボタンを押す。
正方向は>、逆方向は<を押します。押し続けると連続してコマ送りします。



画面表示やテープ残量を見る

テープカウンターおよび残量表示をテレビ画面でも見ることができます。残量表示はテープの残りを知る目安としてお使いください。



テープ残量を見るには

カウンター/残量ボタンを押します。

押すたびにテープカウンターと残量表示が切り換わります。標準で2時間を超えるテープのときは、メニューの「各種設定2」で「VHS テープ残量切換」を設定してください。(20ページ)

テープカウンターを「0:00:00」に戻すには

カウンターリセットボタンを押します。

テープを入れ換えたときも「0:00:00」になります。

テープを「0:00:00」の位置に戻すには

テープリターンボタンを押します。テープカウンターが「0:00:00」になるまで早送り・巻戻しします。

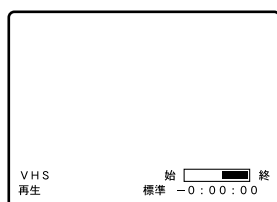


- ・「再生」や「早送り」など操作時に自動的に出てくる走行表示を消したいときは、メニューの「各種設定1」で「自動画面表示」を「切」にしてください。(19ページ)

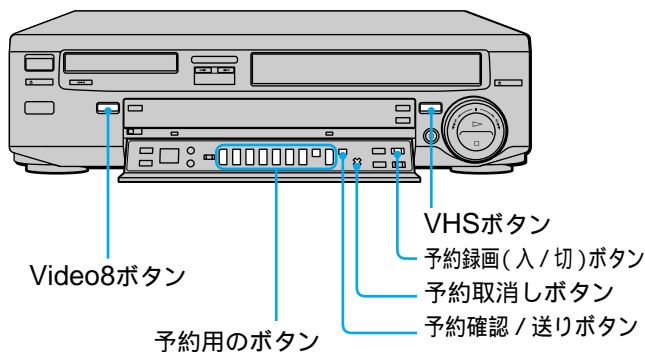
画面表示ボタンを押す。

テープカウンターまたは残量表示が出ます。もう1度押すと元の画面に戻ります。

画面表示



予約を確認する・変更する・ 取り消しする



予約を確認する

選んだデッキの予約を確認します。

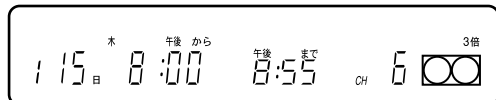
- 1 8ミリまたはVHSを選ぶ。



- 2 予約確認ボタンを押す。

押すたびに予約した順で予約内容が確認できます。終わったらカウンター表示が出るまで予約確認ボタンを押してください。

予約確認/送り



予約を変更する

選んだデッキの予約を変更します。リモコンではできません。

- 1 8ミリまたはVHSを選ぶ。

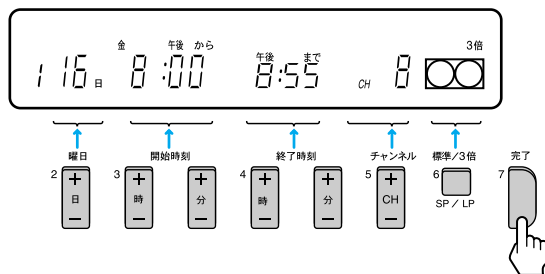


- 2 予約確認/送りボタンを繰り返し押し、変更したい内容を出す。

予約確認/送り



- 3 変えたい項目を予約用のボタンで変更し、予約完了ボタンを押す。
予約待機(予約録画待ち)になります。
もう1度変更するときは手順1から行ってください。



次のページにつづく

予約を確認する・変更する・ 取り消しする(つづき)

予約を取り消す

選んだデッキの予約を取り消します。

1 8ミリまたはVHSを選ぶ。



2 予約録画(入/切)ボタンを押して、選んだデッキの表示窓から「予約録画」を消す。



3 予約確認/送りボタンを繰り返し押して、取り消したい内容を出す。



4 予約取消しボタンを押す。
予約が取り消されます。続けて別の予約を取り消すときは手順3から行ってください。

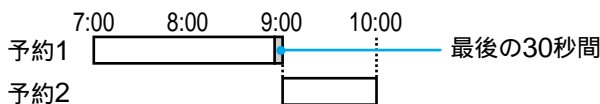
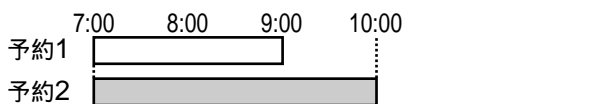
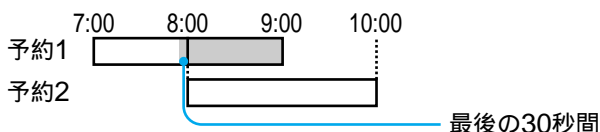


5 他に予約があるときは、予約録画(入/切)ボタンを押して、選んだデッキの表示窓に「予約録画」を出す。
別のデッキの予約を取り消すときは手順1から行ってください。



ご注意

- ・ リモコンでは予約の変更はできません。
- ・ 予約が重なったときは、下の 最後の30秒間

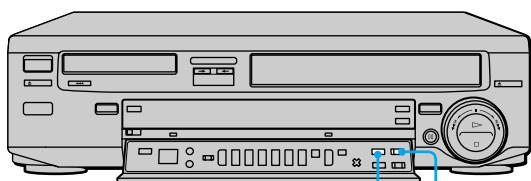


- ・ 電源が入っているときは、テレビ画面を見ながら確認・取り消しができます。選んだデッキの予約内容が画面に出ます。

VHS 予約リスト		1 2 / 2 3		土
日付	から	まで	CH	
1/5 金	午前9:00	午前9:45	8	標準
12/30 土	午後7:15	午後8:20	10	3倍
毎日	午後10:15	午後11:50	27	3倍
毎週月-金	午後8:15	午後8:30	1	標準
毎週 水	午前0:10	午前1:25	入力1	標準
1/18 木	午後9:00	午後10:00	6	3倍

時間を決めて録画をとめる(クイックタイマー)

録画中に、急用で出かけることになったり眠くなったりしたときは、自動的に電源が切れる時間を決められます。



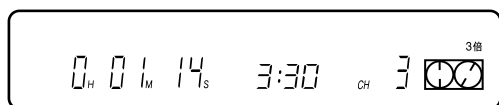
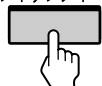
予約録画(入/切)ボタン

クイックタイマーボタン

録画中にクイックタイマーボタンを繰り返し押して、録画をとめる時間を選ぶ。

押すたびに8ミリの場合「8:00」、VHSの場合「11:00」まで30分単位で変わります。「0:00」のまま約30秒たつと電源が切れます。指定した時間がたつと自動的に録画がとまり、電源が切れます。

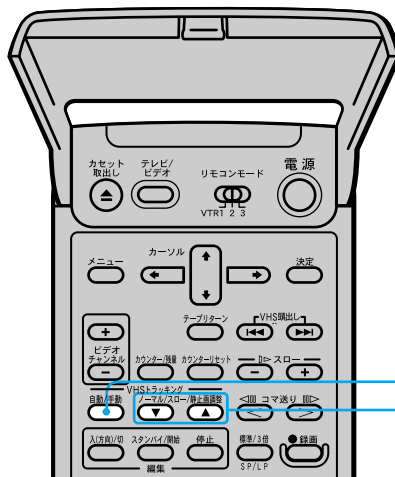
クイックタイマー



- 途中で時間を変えるときは、クイックタイマーボタンを繰り返し押します。
- クイックタイマーボタンを押してから、録画を始めることもできます。
 - クイックタイマーボタンを押す。
 - ビデオチャンネルボタンを押して、チャンネルを選ぶ。
 - クイックタイマーボタンを繰り返し押して、録画をとめる時間を選ぶ。
 録画が始まります。
- クイックタイマーを途中で止めたいときは、予約録画(入/切)ボタンを押します。

画像と音声を調整する(トラッキング)(VHSのみ)

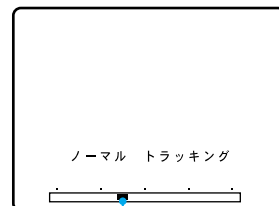
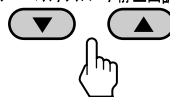
再生画像が乱れたり雑音が出るときは、手でトラッキングを調整してください。通常はトラッキング自動調整が働いて、きれいな画像で見ることができます。



トラッキング手動/自動ボタン
トラッキング▼/▲ボタン

再生中にトラッキング▼/▲ボタンを押して調整する。

ノーマル/スロー/静止画調整



▼で左へ、▲で右へ動く

自動調整に戻すには

トラッキング自動/手動ボタンを押します。表示窓に「オートトラッキング」が出ます。

ご注意

- 他のビデオで録画したカセットや録画状態の悪いカセットでは、チラつきが十分に消えないことがあります。
- ハイファイ音声はノーマル音声に変わることがあります。
- スロー/コマ送りのチラつきは、スロー再生にして調整してください。
- 再生一時停止中の縦ゆれは、トラッキング▼/▲ボタンを押して調整してください。

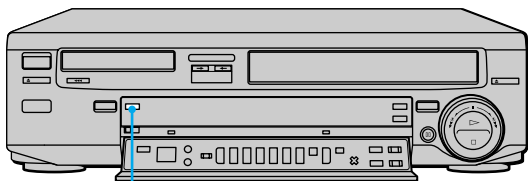


- 8ミリのトラッキングは常に自動調整されています。

応用

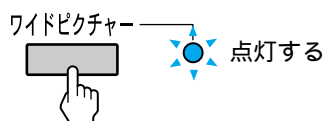
ワイドテレビに合わせて画質を補正する

ワイドテレビでご覧の場合は、ワイドテレビに合わせてくっきりとした画質に補正することができます。



ワイドピクチャーボタン

ワイドピクチャーボタンを押す。
ボタンの横のランプが点灯し、画像が補正されます。

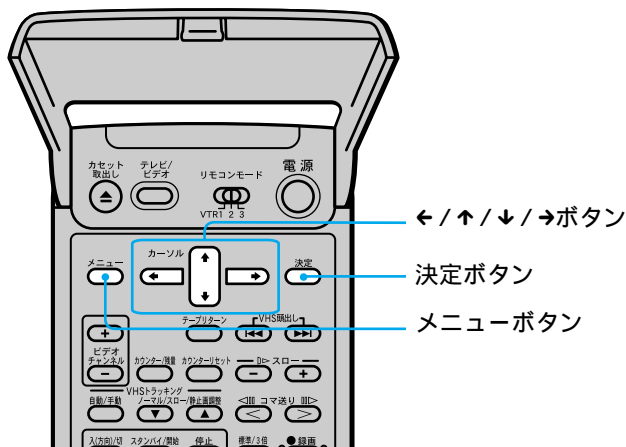


ご注意

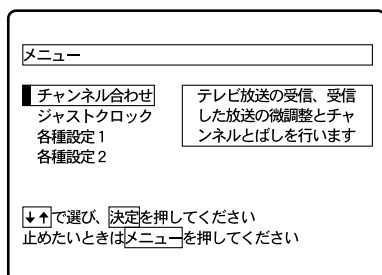
- 録画に対しては働きません。
- 画像によっては見づらくなるときがあります。もう1度ワイドピクチャーボタンを押して、元の画質に戻してください。

お買い上げ時の設定を変える(メニュー)

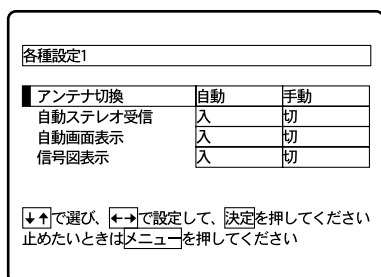
アンテナ切り換えや画面表示などを、メニューの「各種設定1・2」画面で設定できます。通常は、お買い上げ時の設定で使えますが、編集時など必要に応じて設定を変えてください。



- 1 メニュー - ボタンを押す。
テレビ画面にメニューが出ます。



- 2 ↑/↓で「各種設定1」または「各種設定2」を選び、決定ボタンを押す。



- 3 ↑/↓で項目を選び、←/→で設定する。
各項目の内容は次の表をご覧ください。

- 4 決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

応用

各項目の内容

がお買い上げ時の設定です。

(各種設定1)

アンテナ切替

- | | |
|----|--|
| 自動 | アンテナ線だけでテレビとつないだとき。再生するとビデオ用のチャンネル(1または2チャンネル)で、ビデオを見ることができます。 |
| 手動 | 映像・音声コードでテレビとつないだとき。ビデオ用のチャンネル(1または2チャンネル)でビデオを見るには、テレビ/ビデオボタンを押して本体表示窓に「ビデオ」を出してください。 |

自動ステレオ受信

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 入 | 通常はこの位置にしてください。ステレオ放送がステレオで聞けます。 |
| 切 | ステレオ放送の雑音が多く聞きづらいとき。ただし音声はモノラルになります。 |

自動画面表示

- | | |
|---|--|
| 入 | 「再生」、「早送り」などの走行表示を確認したいとき。走行表示が約3秒間出て消えます。 |
| 切 | 他機との編集時、走行表示が他機で録画されないようにするとき。お知らせガイドや走行表示は自動的に出ません。 |

信号図表示

- | | |
|---|---|
| 入 | 映像・音声の流れを図で確認したいとき。Video8/VHS切り換え時と編集時に信号図を表示します。 |
| 切 | 通常はこの位置にしてください。信号図は表示されません。 |

次のページにつづく

お買い上げ時の設定を 変える(メニュー)(つづき)

(各種設定2)

表示窓の明るさ

明	表示を見やすくしたいとき。
暗	表示が明るすぎるとき。

映像入力

映像	S映像端子を使わないで他機をつないだとき。
S映像	S映像端子を使って他機をつないだとき。

Video8音声入力

ステレオ	ステレオまたはノーマル(モノラル)音声で録画したテープを8ミリデッキで録画するとき。
二重音声	二重音声で録画したテープを8ミリデッキで録画するとき。

VHS APC

入	通常はこの位置にしてください。テープとヘッドの状態を自動的に判断して最適な画質で再生・録画*します。レンタルビデオや市販のビデオなどもきれいに見ることができます。VHSにのみ働きます。
切	APCは働きません。

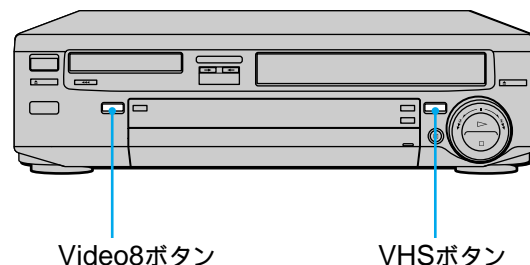
* 録画一時停止中に本体表示窓のAPC表示が点滅するときは、一時停止中に録画 ボタンを押してAPC表示を点灯させてから録画を始めてください。点滅した状態で録画を始めても、APCは働きません。

VHS テープ残量切換

~120	標準で録画時間が120分以下のテープ残量を表示したいとき。
~160	標準で録画時間が120分を超えて180分未満のテープ残量を表示したいとき。
180	標準で録画時間が180分のテープ残量を表示したいとき。

8ミリとVHSを 同時に使う

8ミリデッキとVHSデッキのうち、どちらかが使用中でも、もう片方のデッキを使って再生や録画などができます。



1 再生や録画に使っていない方のデッキを選ぶ。

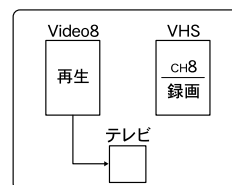
選んだ方のボタンが点灯し、画面表示と本体表示窓の表示が切り換わります。すでに使用中のデッキの動作が止まることはありません。



2 選んだデッキを使う。



- 片方のデッキに予約が入っていても、電源を入れてもう片方のデッキを選んで使えます。
- メニューの「各種設定1」で「信号図表示」を「入」にすると、テレビ画面で両方のデッキの動作を確認できます。(19ページ)

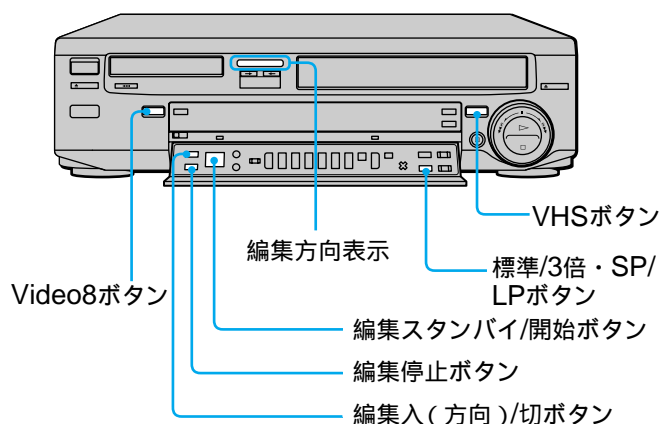


ご注意

- テレビ放送を同時に録画したり入力端子からの映像を同時に録画することはできません。

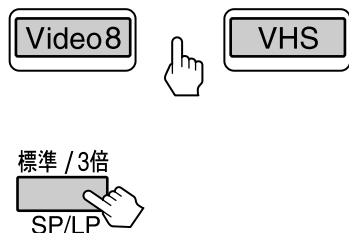
テープの途中からダビングする

テープの途中からダビングを始めたいときは以下の操作を行ってください。テープの最初から最後までダビングするときは「おまかせダビング」(8ページ)を行ってください。



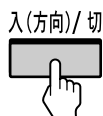
1 再生用、録画用カセットを入れ、ダビングを始める場面まで早送り・巻き戻しする。

2 録画側のデッキを選び、録画時間を選ぶ。

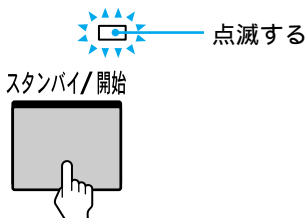


3 編集入(方向)/切ボタンを押してダビングの方向を選ぶ。

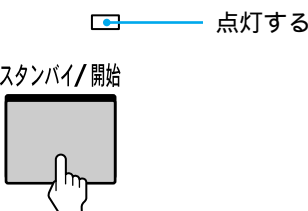
押すたびに、編集方向表示は⇒ ⇐ (切)と変わります。



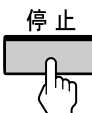
4 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。再生側のデッキは再生一時停止、録画側のデッキは録画一時停止になります。VHSでAPCを働かせて録画をする場合は、録画●ボタンを押してください(20ページ)



5 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。両デッキの一時停止が解除され、録画が始まります。



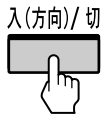
6 終わったら、編集停止ボタンを押す。



テープの途中からダビングする(つづき)

7

編集入(方向)/切ボタンを押して、編集方向表示を消す。



ご注意

- VHSから8ミリへダビングするときは、ダビングするビデオテープについて次のことにご注意ください。

ー 再生側(VHS)

ご自分で録画したVHSテープでダビングの操作をすると、自動的にカセットが出てきて、ダビングできないことがあります。この場合は、カセットの誤消去防止用のツメを確認してください。ツメが折れているときは、セロハンテープなどでふさいで操作し、ダビング後は元に戻しておきましょう。大切な記録内容を誤って消さないように、ダビングの方向には充分注意してください。

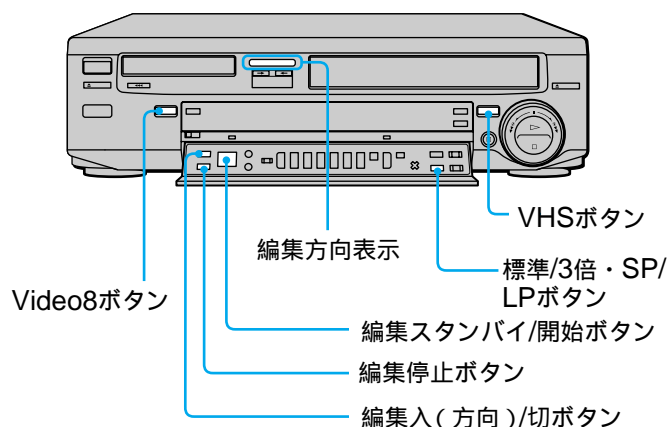
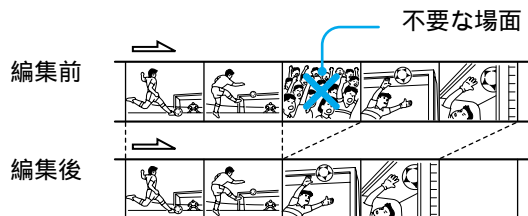
ー 録画側(8ミリ)

8ミリカセットの誤消去防止ツマミの窓が閉じているとダビングできません。自動的にカセットが出てきます。

- 二か国語放送のテープを8ミリにダビングするときは、メニューの「各種設定2」で「Video8音声入力」を「二重音声」にしてください。(20ページ)
- 二か国語放送のテープをダビングするときは、ダビングを始める前に1度再生し、リモコンの音声切換ボタンでダビングしたい音声を選んでください。

好きな場面だけ編集する

ビデオカメラなどで録画したテープから不要な場面をカットし、好きな場面だけをつないで他のテープに録画します。



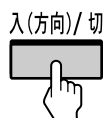
1 再生用、録画用カセットを入れ、編集を始める場面まで早送り・巻き戻しする。

2 録画側のデッキを選び、録画時間を選ぶ。

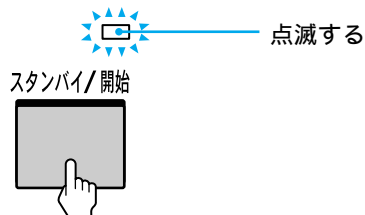


3 編集入(方向)/切ボタンを押して編集の方向を選ぶ。

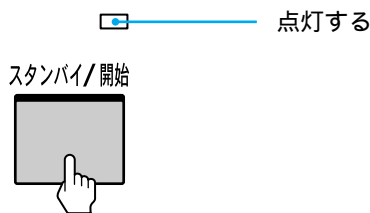
押すたびに、編集方向表示は⇒ ⇐ (切)と変わります。



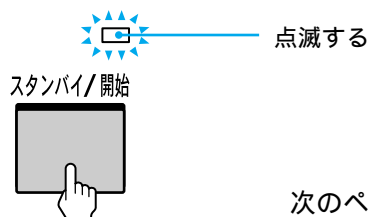
4 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。再生側のデッキは再生一時停止、録画側のデッキは録画一時停止になります。VHSでAPCを働かせて録画をする場合は、録画●ボタンを押してください。(20ページ)



5 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。両デッキの一時停止が解除され、録画が始まります。



6 不要な場面で編集スタンバイ/開始ボタンを押す。両デッキとも一時停止になります。

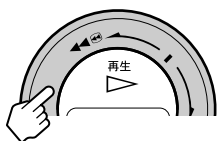


次のページにつづく

好きな場面だけ編集する(つづき)

7

再生側のデッキを選び、シャトルリングを回して録画を再開したい場面を出す。



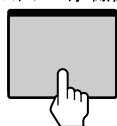
8

もう1度編集スタンバイ/開始ボタンを押す。

録画が始まります。



スタンバイ/開始

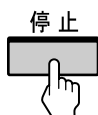


9

手順6から8を繰り返して他の不要な場面をカットする。

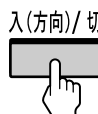
10

終わったら、編集停止ボタンを押す。



11

編集入(方向)/切ボタンを押して、編集方向表示を消す。



- 手順6で録画側のテープが行きすぎたときは、録画側デッキを選んだまま本体のシャトルリングで戻せませ(シャトルエディット)。

ご注意

- VHSから8ミリへ編集するときは、編集するビデオテープについて次のことにご注意ください。

ー 再生側(VHS)

ご自分で録画したVHSテープで編集の操作をする
と、自動的にカセットが出てきて、編集できない
ことがあります。この場合は、カセットの誤消去
防止用のツメを確認してください。ツメが折れて
いるときは、セロハンテープなどでふさいで操作
し、編集後は元に戻しておきましょう。大切な記
録内容を誤って消さないように、編集方向には充
分注意してください。

ー 録画側(8ミリ)

8ミリカセットの誤消去防止ツマミの窓が閉じてい
ると録画できません。編集できないビデオテープ
で編集の操作をすると、自動的にカセットが出て
きます。

- 8ミリデッキで二か国語放送のテープを録画するときは、メニューの「各種設定2」で「Video8音声入力」を「二重音声」にしてください。(20ページ)
- 二か国語放送のテープを編集するときは、編集を始める前に1度再生し、リモコンの音声切換ボタンで編集したい音声を選んでください。
- つないだ最初の部分で、画像が乱れることがあります。

お手持ちのビデオとつないで編集する

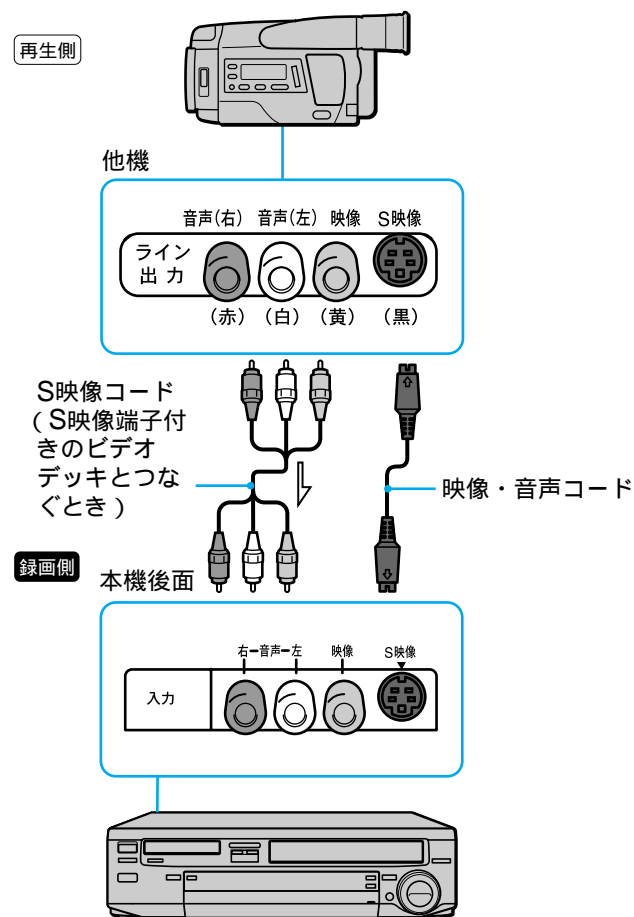
本機にもう1台のビデオカメラやビデオデッキをつないで編集できます。お手持ちのビデオカメラやビデオデッキの取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続

ご注意

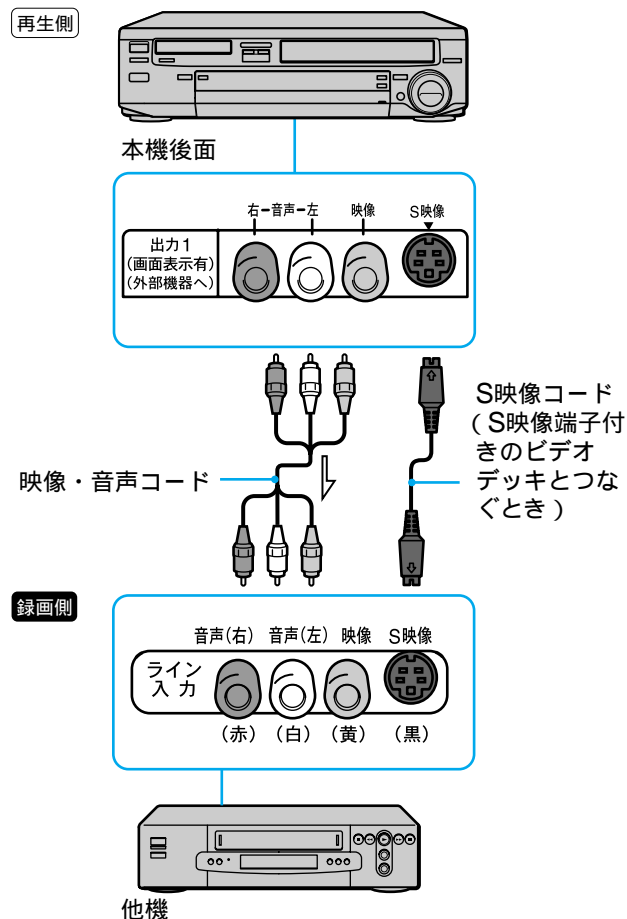
- 本機が録画機になる接続と再生機になる接続を同時にしないでください。ブーンという音が出る場合があります。

本機で録画するとき



- 入力端子にS映像コードをつないだときは、メニューの「各種設定2」で「映像入力」を「S映像」にしてください。(20ページ)

本機で再生するとき



- S映像コードをつないだときは、映像コード(黄色のコード)は接続不要です。

お手持ちのビデオとつないで 編集する(つづき)

準備

再生側のビデオを準備する

- 再生用カセットを入れる。
- エディットスイッチがある場合は、「入」にする。
- 画面表示ボタンを押して、画面表示を消す。
- 二か国語放送のテープを再生するときは、音声切換ボタンを押して、記録したい音声を選ぶ。(9ページ)
(音声切換ボタンが再生側の機器にないときは不要です。)

録画側のビデオを準備する

- 誤消去防止状態になっていない、録画用カセットを入れる。
- エディットスイッチがある場合は、「入」にする。
- 外部入力にする。(本機が録画側で、入力につないでいるときは、チャンネル+/-ボタンを押して、表示窓に「L」を出します。)
- 録画時間を選ぶ。(本機が録画側の場合は、標準/3倍・SP/LPボタンを押して選びます。)
- 8ミリデッキで二か国語放送のテープを録画するときは、メニューの「各種設定2」で「Video8音声入力」を「二重音声」にする。(20ページ)



- エディットスイッチは、編集が終わったあと「切」に戻してください。

操作

テープの内容をそのままダビングするときは、手順4から手順6をとばしてください。

1

録画側 録画一時停止にする。

2

再生側 再生一時停止にする。

3

録画側 両方の一時停止を解除する。
再生側 録画が始まります。

4

録画側 画像を見ながら、不要な場面で録画一時停止にする。

5

再生側 次に録画を始める場面の頭で再生一時停止にする。

6

録画側 手順3~5をくり返す。
再生側

7

録画側 録画が終わったら、両方の停止ボタンを押す。
再生側

設置と準備の 進めかた

表の矢印にしたがって、設置と準備を進めます。

1：付属品を確認する

27ページ

2：アンテナとテレビをつなぐ

28ページ

3：リモコンで時計を合わせる

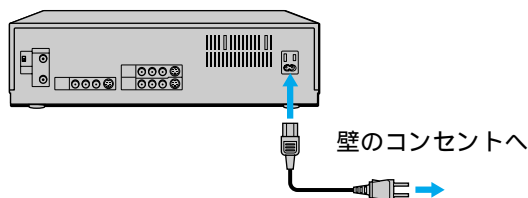
32ページ

4：チャンネルを合わせる

34ページ

以上で設置と準備は終わりです。

すべての接続が終わったら電源コードをつないでください。

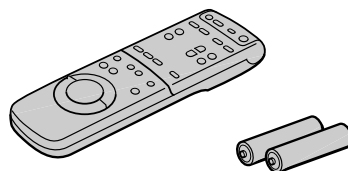


- 本体後面のコンセントは他機の電源として使えます。ただし、消費電力が200Wを超える機器はつながないでください。

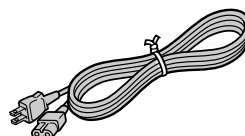
準備1：付属品を 確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。()内のページで詳しく説明しています。

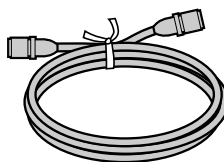
リモコン(1個)と単3形乾電池(2個)(32)



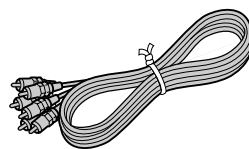
電源コード(1本)(27)



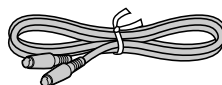
F型コネクター付き同軸ケーブル(1本)(29)



映像・音声コード(1本)(30)



S映像コード(1本)(30)

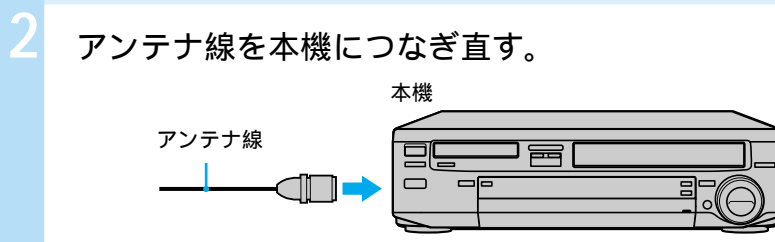
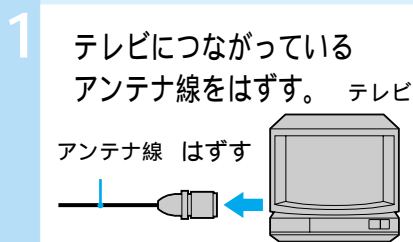


取扱説明書
安全のために
ソニーご相談窓口のご案内
保証書

(各1部)

準備2：アンテナとテレビをつなぐ

テレビにつながっているアンテナ線ははずして、本機につなぎ直します。
次に、付属の同軸ケーブルを使って、本機とテレビをつなぎます。
テレビの端子やアンテナ線の形に合わせて、つなぎかたを選んでください。



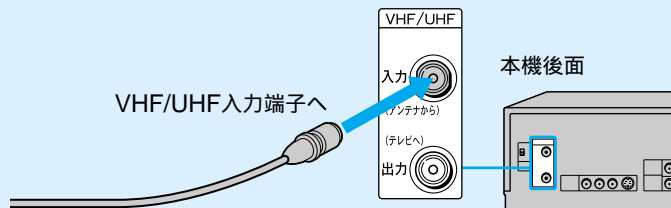
3

テレビからはずしたアンテナ線に合うつなぎかたをする

プラグ付き同軸ケーブル



VHF/UHF入力端子へ



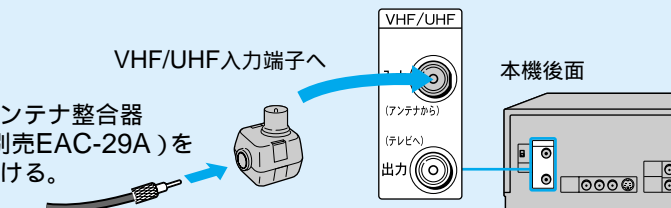
本機後面

プラグなし同軸ケーブル



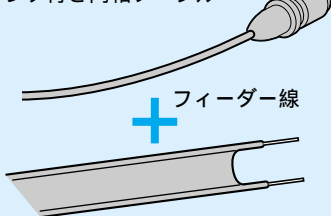
VHF/UHF入力端子へ

アンテナ整合器
(別売EAC-29A)を
付ける。



本機後面

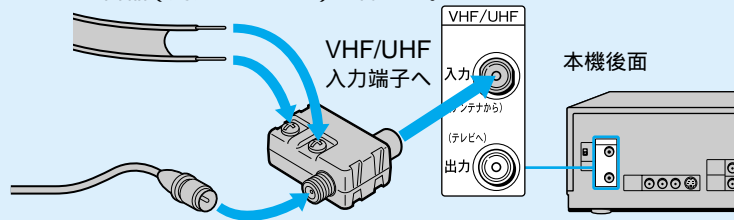
プラグ付き同軸ケーブル



+

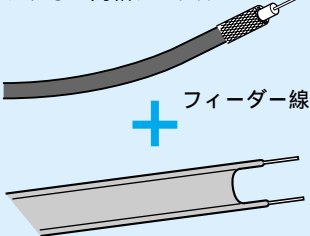
フィーダー線

アンテナ混合器(別売EAC-68)を付ける。



本機後面

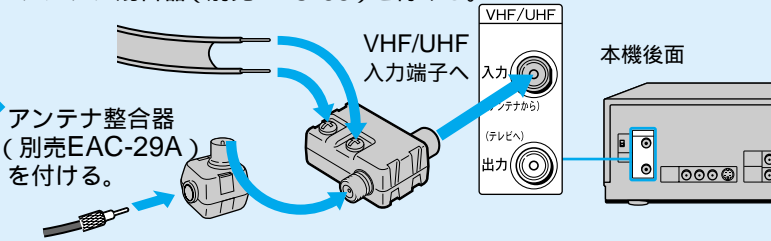
プラグなし同軸ケーブル



+

フィーダー線

アンテナ混合器(別売EAC-68)を付ける。

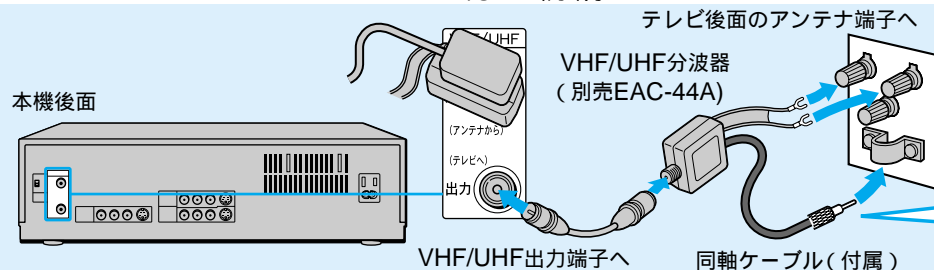
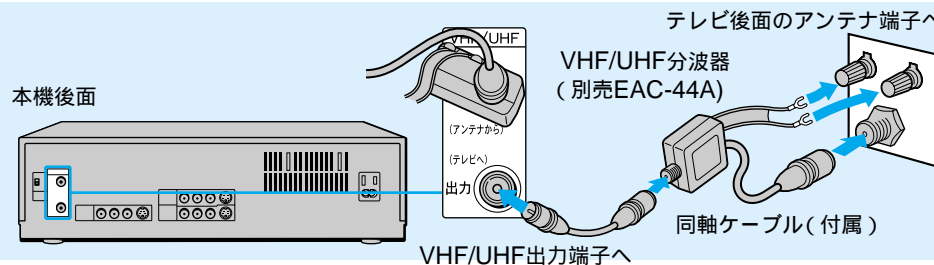
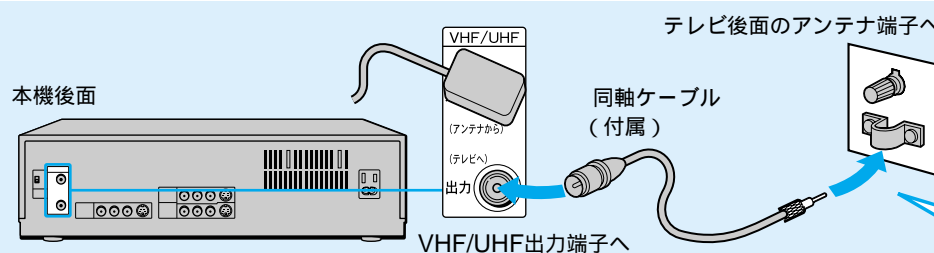
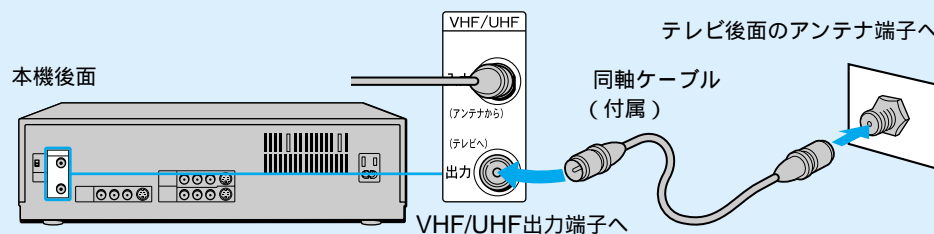
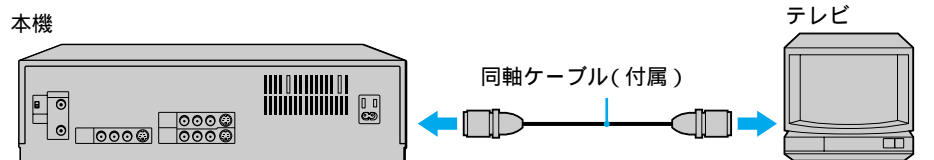


本機後面

ご注意

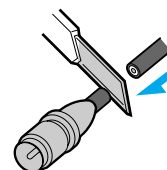
- 画像の乱れを防ぐために
 - 本機の上にテレビを直接置かないでください。
 - アンテナ線はなるべく短くしてください。
 - アンテナ線は本機から離してください。
- テレビに映像・音声入力端子が無いときは、UHF放送だけの地域でもテレビのVHF端子と本機のVHF/UHF出力端子をつないでください。つながないとビデオ画像を見ることができません。
- アンテナ整合器で、本機のVHF/UHF出力端子とテレビのアンテナ端子を接続しないでください。

本機にテレビをつなぐ。



テレビ後面のアンテナ線がネジ式の場合

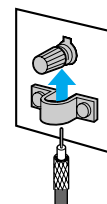
1 プラグを切り取る



2 切り取ったケーブルの芯線とアミ線を出す (31 ページ)
芯線とアミ線の寸法は、アンテナ端子の形に合わせる。



3 アンテナ端子に巻き付ける

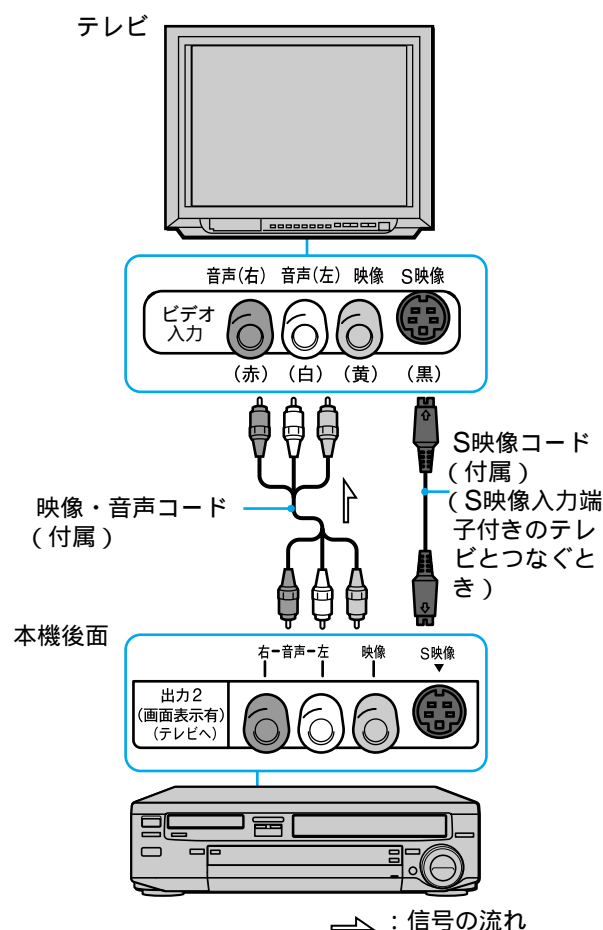


- 次のときは別売りのアンテナブースターを、アンテナと本機の間につないでください。
 - 電波が弱いために画面がチラチラしたり、斜めじまが入るとき
 - 2台以上のビデオにアンテナをつなぐとき

準備2：アンテナとテレビをつなぐ(つづき)

映像・音声入力端子のあるテレビをつなぐとき

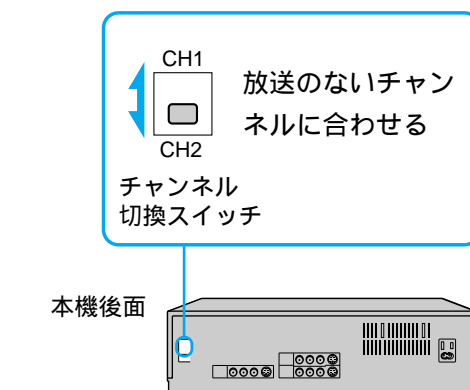
本機とテレビを付属の映像・音声コードでつなぎます。アンテナ線だけの接続よりきれいな画像とステレオ音声を楽しめます。ビデオを見るときは、テレビの入力切換を「ビデオ」にしてください。



- テレビを本機の出力2端子につないでください。メニューやお知らせガイドが見られます。
- メニューの「各種設定1」で「アンテナ切換」を「手動」にしてください(19ページ)。録画中に裏番組を見るときに、テレビ/ビデオボタンを押す必要がなく便利です。
- BSチューナー内蔵テレビを使ってBSを録画するときは、本機の入力端子とテレビのBS出力端子を別売りの映像・音声コードでつないでください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

映像・音声入力端子のないテレビをつなぐとき

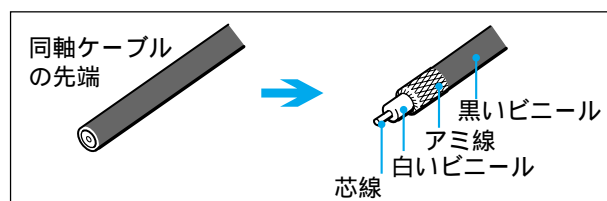
チャンネル切換スイッチを、放送のないチャンネル(1または2チャンネル)に合わせます。ビデオを見るときは、テレビのチャンネルを1または2チャンネルにしてください。



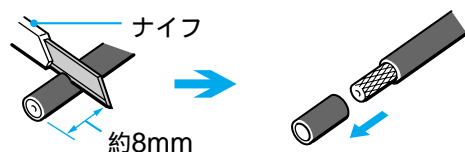
- メニューの「各種設定1」の「アンテナ切換」は「自動」のままにしておいてください。(19ページ)

プラグなし同軸ケーブルに 整合器(別売)を付けるには

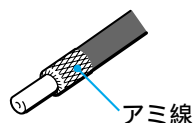
あらかじめ同軸ケーブルの先を加工します。



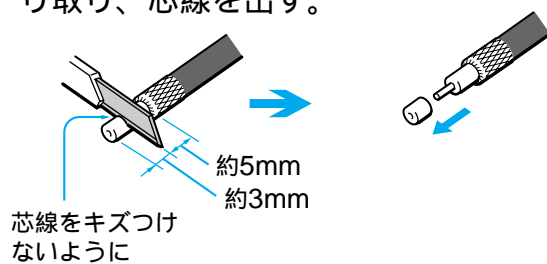
- 1 黒いビニールにだけすじを入れて切り取る。



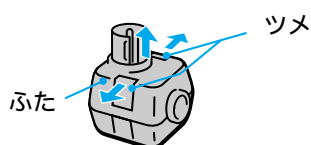
- 2 アミ線を折り返す。



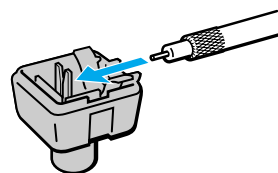
- 3 白いビニールにだけすじを入れて切り取り、芯線を出す。



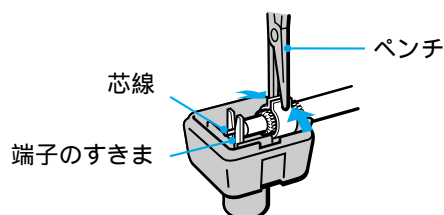
- 4 整合器の両側のツメを広げてふたをはずす。



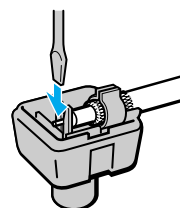
- 5 先まで差し込む。



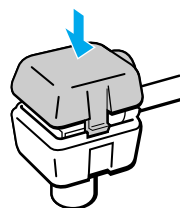
- 6 ペンチで端子のわきを締めつける。



- 7 マイナスドライバーなどで芯線を曲げておさえる。

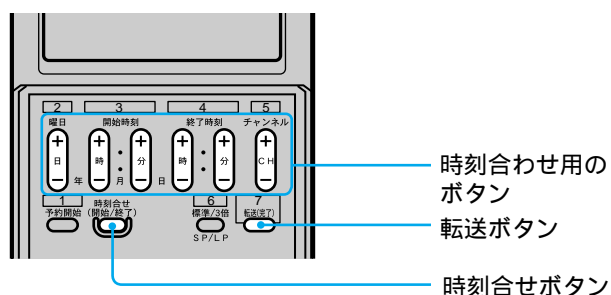
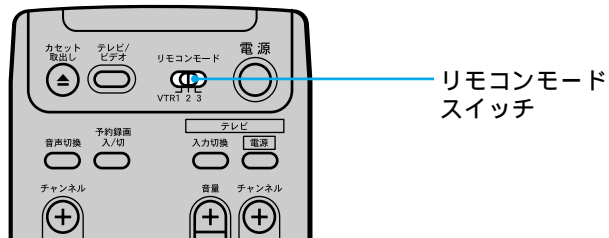


- 8 整合器のふたをはめる。

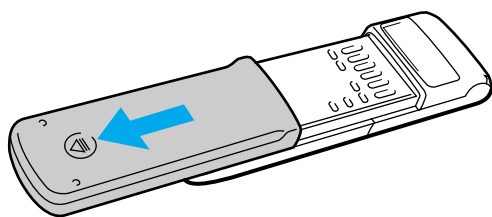


準備3：リモコンで時計を合わせる

乾電池を入れて、時計を合わせます。また、場合によってリモコンモードを合わせます。

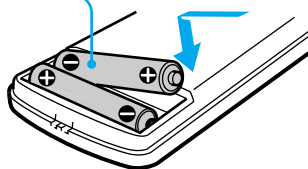


1 ウラ面のフタをはずす。



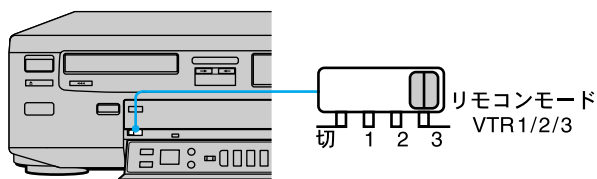
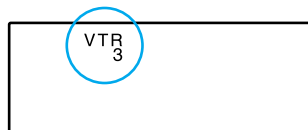
2 乾電池を入れる。

⊕と⊖の向きを正しく



3 本体とリモコンのリモコンモードが合っていることを確認する。
お買い上げ時は「VTR3」に合っています。

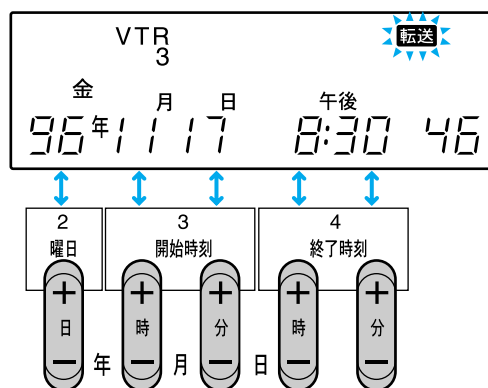
リモコンモード
VTR 1 2 3



4 時刻合せボタンを押す。



5 リモコンの表示窓を見ながら時刻を合わせる。



6 時報と同時に、本体に向けて転送ボタンを押す。

ピーッと音がして本体表示窓に合わせた曜日と時刻が出ます。

転送 (完了)



7 時刻合せボタンを押す。
終わったらフタを閉めてください。




2台以上のソニー製ビデオを使うときは

リモコン信号の重複による誤動作を防ぐため、お互いのリモコンモードの数字が別々になるように設定してください。リモコンモードスイッチのないビデオの場合、ベータは「VTR1」、8ミリは「VTR2」、VHSは「VTR3」に設定されています。

ご注意

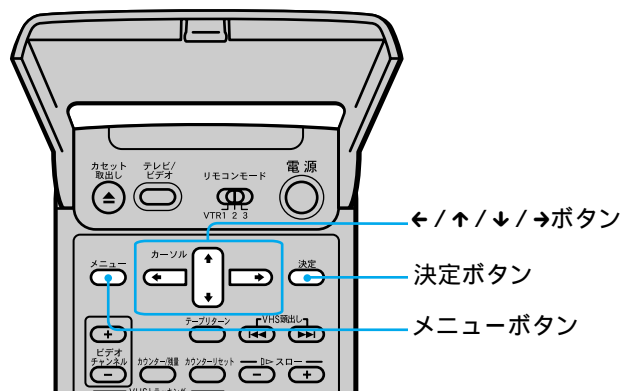
- 乾電池の取り扱いについて
液漏れや破損を防ぐために、次のことをお守りください。
 - －新しいものと古いもの、または違う種類のものを混用しないでください。
 - －充電しないでください。
 - －長時間使わないときは、出しておいてください。
 - －万一、液漏れしたときは、よく拭き取ってから新しい電池に入れ換えてください。



- 本体で時計を合わせるときは以下のようにします。
 - 1 時刻合せボタンを押す。
 - 2 本体の表示窓を見ながら、時刻合わせ用のボタンを押して時刻を合わせる。
 - 3 完了ボタンを押す。
- リモコンの時刻を本体に転送するときには以下のようにします。
 - 1 時刻合せボタンを押す。
 - 2 転送(完了)ボタンを押す。
 - 3 時刻合せボタンを押す。
- 乾電池の交換時期は約6か月です。表示窓の表示が薄くなったり、マークが点灯したら交換してください。

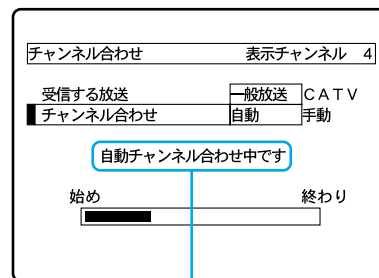
準備4：チャンネルを合わせる

受信できるVHF放送とUHF放送を自動的にさがします。放送のある時間帯に行ってください。



5

↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、←/→で「自動」にし、決定ボタンを押す。終了すると通常の画面に戻ります。



点滅する

1

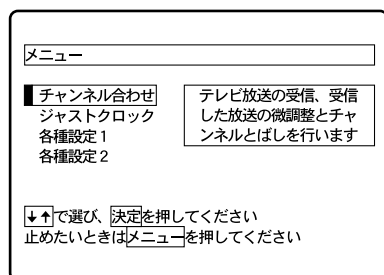
テレビの電源を入れて、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
アンテナ線だけでつないだときは、1または2チャンネルにします。

2

本機の電源ボタンを押す。

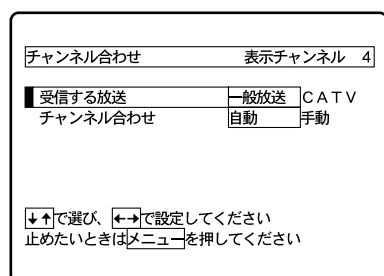
3

メニューボタンを押す。
メニューが出ます。



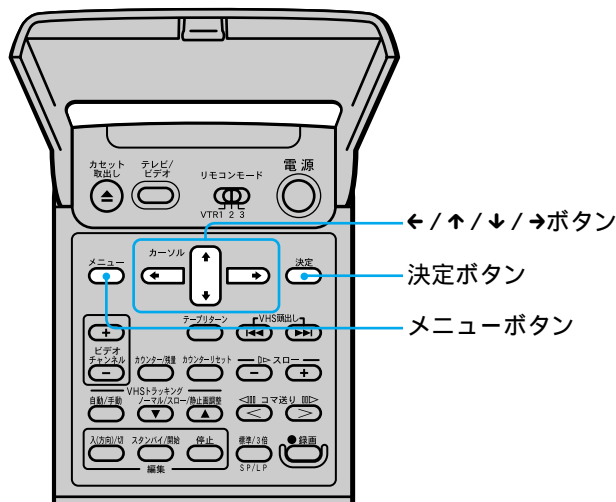
4

↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。

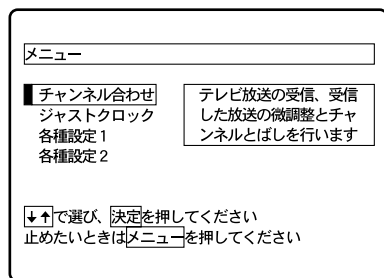


時計を自動補正する(ジャストクロック)

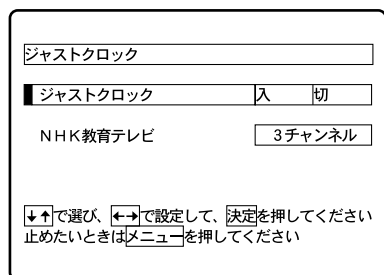
NHK教育テレビの時報を日に2回(7、12、19時のうち2回)読みとり、本体の時計を補正します。予約録画の始めや終わりが切れないようになります。



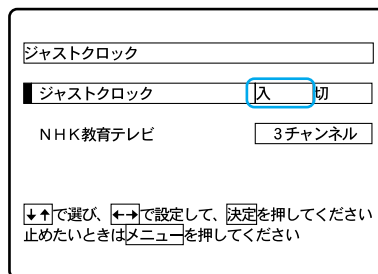
- 1 メニューボタンを押す。
メニューが出ます。



- 2 ↑/↓で「ジャストクロック」を選び、決定ボタンを押す。

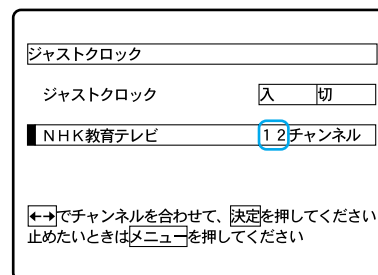


- 3 ←/→で「入」を選ぶ。



- 4 ↑/↓で「NHK教育テレビ」を選び、←/→でNHK教育テレビの表示チャンネルにする。

「NHK教育テレビ」が12チャンネルの例



- 5 決定ボタンを押す。
これで時報に合わせて自動補正されます。

ご注意

- 日に2回の時報(7、12、19時のうち2回)のときに本機が次のようになっていると自動補正は動きません。
 - 電源が入っている
 - 時計が2分以上ずれている

チャンネル設定を変える(手動チャンネル合わせ)

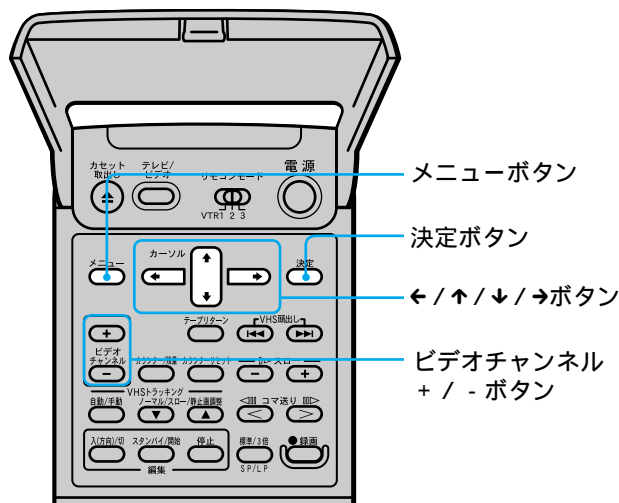
チャンネルの番号を変える

「準備4：チャンネルを合わせる」(34ページ)でチャンネルを自動的に合わせたときは、通常は手動で合わせ直す必要はありません。

ただし、次のような時は、お好みに応じて手動でチャンネルを合わせてください。

例1：熱海市にお住まいのかたが、通常11チャンネルで放送されている静岡放送を、本機の6チャンネルで映したいとき

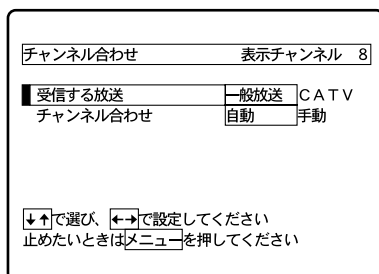
例2：VHF放送をUHFに変換している地域にお住まいのかたが、50チャンネルに変換されたNHK教育テレビを、本機の3チャンネルで映したいとき



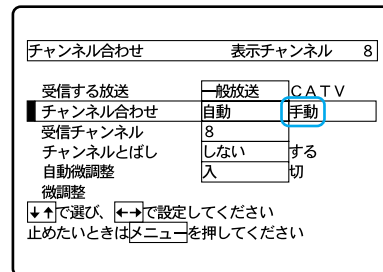
1 電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 メニューボタンを押す。

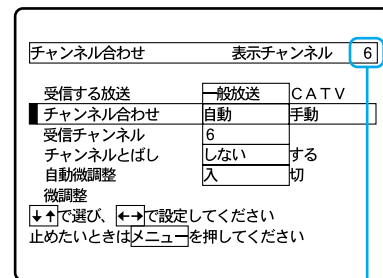
3 ↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、←/→で「手動」にする。

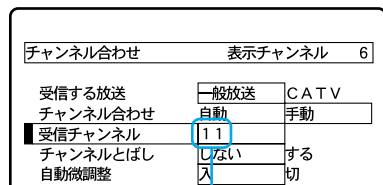


5 ビデオチャンネル + / - ボタンで「表示チャンネル」を放送局を映したいチャンネルにする。



例1の場合「6」にする

6 ↑/↓で「受信チャンネル」を選び、←/→で映したい放送局の番号にする。



例1の場合「11」にする

7 決定ボタンを押す。

メニューが消えます。

このままでは元のチャンネルでも放送が映ってしまうので、続けて「放送のないチャンネルをとばす」を行ってください。

放送のないチャンネルをとばす

不要な放送局を映らないようにします。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。

チャンネル合わせ		表示チャンネル 6
受信する放送	一般放送	CATV
チャンネル合わせ	自動	手動
↓↑で選び、←→で設定してください 止めたいときはメニューを押してください		

3 ↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、←/→で「手動」にする。

チャンネル合わせ		表示チャンネル 6
受信する放送	一般放送	CATV
チャンネル合わせ	自動	手動
受信チャンネル	6	
チャンネルとばし	しない	する
自動微調整	入	切
↓↑で選び、←→で設定してください 止めたいときはメニューを押してください		

4 ビデオチャンネル+/- ボタンで「表示チャンネル」を消したい放送局が映っているチャンネルにする。

チャンネル合わせ		表示チャンネル 11
受信する放送	一般放送	CATV
チャンネル合わせ	自動	手動
受信チャンネル	11	
チャンネルとばし	しない	する
自動微調整	入	切
チャンネルボタンで表示チャンネルを選び、 ←→で受信したいチャンネルを設定してください		

例1の場合「11」にする

5 ↑/↓で「チャンネルとばし」を選び、←/→で「する」にする。
ビデオチャンネル+/- ボタンを押しても、映らないようになります。

チャンネル合わせ		表示チャンネル 11
受信する放送	一般放送	CATV
チャンネル合わせ	自動	手動
受信チャンネル	11	
チャンネルとばし	しない	する
自動微調整	入	切
チャンネルボタンでとばしたい表示チャンネルを選び ←→で設定してください		

6 決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

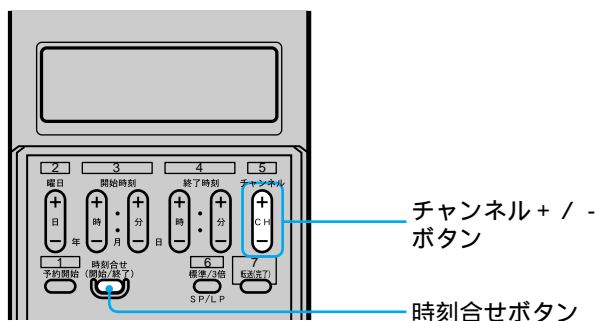
ケーブルテレビ (CATV) を受信する

受信するには、CATV局への加入手続きが必要です。CATV局から届くCATVチューナーの説明書もあわせてお読みください。なお、CATVは受信できない地域もあります。くわしくは、お近くのCATV局にお問い合わせください。

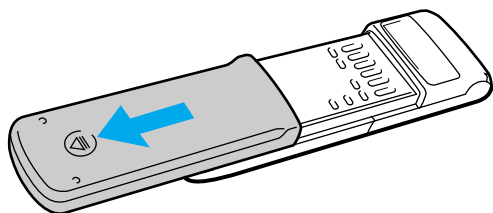
- 1 メニューボタンを押して、↑/↓で「テレビチャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 ↑/↓で「受信する放送」を選び、←/→で「CATV」にする。
- 3 ビデオチャンネル+/- ボタンで「表示チャンネル」を放送の無い番号(例：5)にする。
- 4 ↑/↓で「受信チャンネル」を選び、←/→で希望のチャンネル(例：C30など)にする。
- 5 手順3と4を繰り返す。
- 6 決定ボタンを押す。

リモコンで各社のテレビを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、電源を操作できます。お買い上げ時はソニーの \square マーク付きテレビを操作できるよう設定されています。

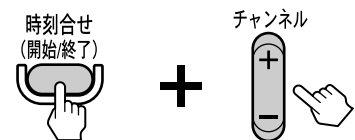


1 裏面のフタを開ける。



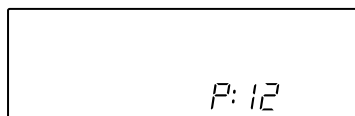
2 時刻合せボタンを押したままチャンネル+/-ボタンを押して、テレビのメーカー番号をリモコンの表示窓に出す。

テレビのメーカー番号は右表の通りです。

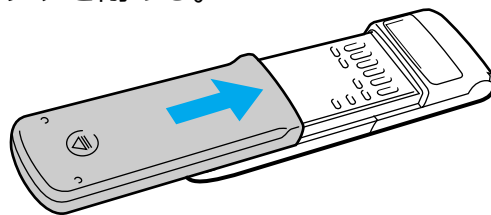


押したまま

例：メーカー番号を12に合わせる



3 フタを閉める。



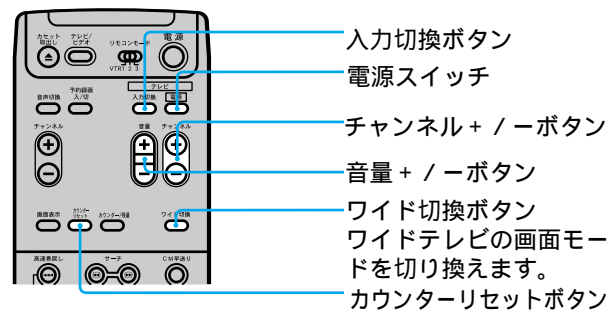
テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー(\square マーク付き)	1 (お買い上げ時の設定)
松下電器1*	2
東芝	3
日立製作所	4
三菱電機	5
日本ビクター	6
三洋電機	7
シャープ	8
NEC	9
パイオニア**	10
富士通ゼネラル	11
ソニー(\square マーク無し)**	12
松下電器2*	13

* メーカー番号「2」で操作できないときは「13」にしてください。

** 入力切替ボタンは使えません。



• 各社のテレビに使えるボタンは以下の通りです。

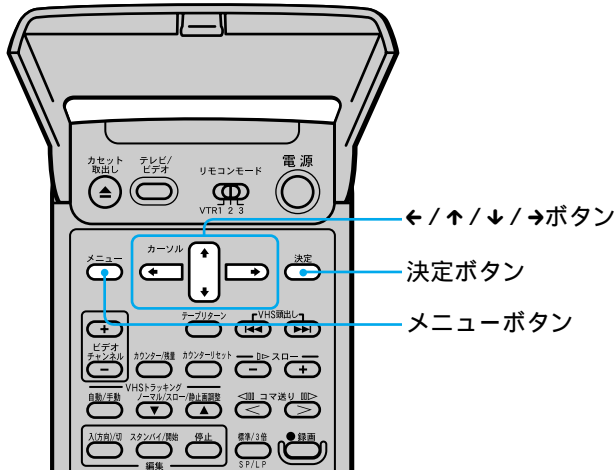


ご注意

• テレビによってはメーカー番号を合わせても操作できなかったり、一部のボタンが操作できないことがあります。

受信状態を微調整する

通常、テレビ放送は自動的に微調整されて、きれいな画像をお楽しみいただけます。それでもなお映りが悪く見づらいときは、手動で微調整してください。



4

↑ / ↓ で「微調整」を選び、← / → で画面を見ながら微調整する。

チャンネル合わせ		表示チャンネル 4 2
受信する放送	一般放送	CATV
チャンネル合わせ	自動	手動
受信チャンネル	4 2	
チャンネルとばし	しない	する
自動微調整	入	切
微調整		
↓↑で選び、←→で設定してください		

5

終わったら決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

1

画像の見づらいチャンネルを見ているときに、メニューボタンを押す。

2

↑ / ↓ で「チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。

チャンネル合わせ		表示チャンネル 4
受信する放送	一般放送	CATV
チャンネル合わせ	自動	手動
↓↑で選び、←→で設定してください 止めたいときはメニューを押してください		

3

↑ / ↓ で「チャンネル合わせ」を選び、← / → で「手動」にする。

チャンネル合わせ		表示チャンネル 4 2
受信する放送	一般放送	CATV
チャンネル合わせ	自動	手動
受信チャンネル	4 2	
チャンネルとばし	しない	する
自動微調整	入	切
微調整		
↓↑で選び、←→で設定してください 止めたいときはメニューを押してください		

使えるテープと再生・録画方式について

8ミリデッキはハイエイト方式です。ハイエイト方式は、スタンダード8ミリ方式をさらに高画質・高解像度にした方式です。

VHSデッキはVHS方式です。VHSテープもS-VHSテープも使えますが、S-VHS方式で録画することはできません。

再生について

8ミリデッキでは、録画済みテープの記録方式(ハイエイト・スタンダード8ミリ)と録画時間モード(SP・LP)を自動判別して再生します。

VHSデッキでは、録画済みテープの録画時間モード(標準・3倍)を自動判別して再生します。S-VHS方式で録画したテープも再生できますが、S-VHS本来の解像度は得られません(簡易再生)。

ご注意

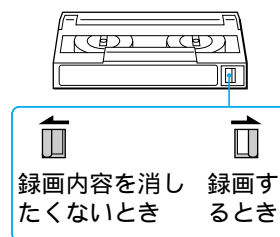
- 日本と違うカラーテレビ方式の外国製ビデオソフトは再生できません。
- ハイエイト方式で録画したテープはスタンダード8ミリ方式ビデオデッキで再生できません。
- S-VHS方式で録画したテープをスローやコマ送りなど変速再生すると画像が乱れることがあります。

録画について

8ミリデッキでは、テープの種類(ハイエイト・スタンダード8ミリ)を自動判別して録画します。



- 録画内容を消したくないときはカセットの背にあるつまみをずらして赤にします。再び録画するときは、つまみを戻してください。



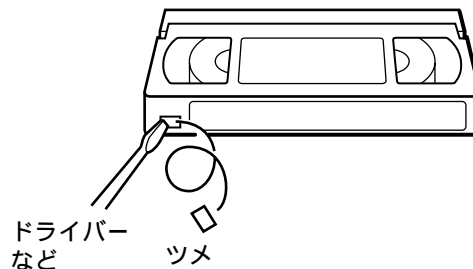
ご注意

- ハイエイトテープに、スタンダード8ミリ方式で録画することはできません。

VHSデッキでは、VHSテープもS-VHSテープもVHS方式で録画されます。



- 録画内容を消したくないときはツメを折って取りまします。再び録画するときは、セロハンテープでふさいでください。



故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源

電源が入っているのに操作できない。

- 結露が起きている。電源を入れたまま、本体表示窓の⓪が消えるまで(約1時間)待つ。
- 電源を切り、電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう1度コンセントに電源プラグを差し込み、電源を入れる。

電源が入らない。

- 電源プラグをコンセントに差し込む。

カセット

カセットが入らない。

- テープの見える面を上にして入れる。
- 他のカセットが入っている。取出し▲ボタンを押して取り出す。
- 結露が起きている。電源を入れたまま、本体表示窓の⓪が消えるまで(約1時間)待つ。

カセットを入れると出てくる。

- 結露が起きている。電源を入れたまま、本体表示窓の⓪が消えるまで(約1時間)待つ。(8ミリのみ)

画像

ビデオの画像が映らない。

- テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビを「1チャンネル」か「2チャンネル」(放送の無いほう)にする。
- メニューが出ている。メニューボタンを押して消す。
- テープに何も記録されていない。

再生した画像がチラつく、汚ない。

- トラッキングがずれている(VHSのみ)。トラッキング手動調整▼/▲ボタンで調整する。(17ページ)
- ビデオヘッドが汚れている。別売りの乾式クリー

ニングカセットでヘッドをクリーニングする。(43ページ)

- テープに傷がある。

ビデオで受信しているテレビ放送が映らない。

- アンテナやテレビを正しくつなぐ。
- メニューの「チャンネル合わせ」でチャンネルを合わせる。(34ページ)
- 外部からの入力になっている(本体表示窓に「L」が出ている)。チャンネル+/- ボタンを押して、テレビ放送にする。

ビデオで受信しているテレビ放送の画像が汚い。

- 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。
- アンテナの向きを調節する。
- 受信状態を微調整する。(39ページ)
- 本機とテレビを離して設置する。
- 本機から離してアンテナ線をたばねる。

テレビのチャンネルを変えられない。

- テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、本体表示窓の「ビデオ」を消す。

外部入力「L」の画像が映らない。

- チャンネル+/- ボタンを押して、入力端子につないでいるときは、「L」にする。
- 入力用のS映像端子を使ってつないだ場合は、メニューの「各種設定2」の「映像入力」を「S映像」にする。S映像端子を使っていなければ「映像」にする。(20ページ)

音声

2つの音が混ざって聞こえる。

- 音声切換ボタンを押す。

ステレオ放送を録画したテープがモノラルで聞こえる。

- モノラル音声を選ばれている。音声切換ボタンを押す。
- モノラルビデオで録画したテープは、常にモノラル音声になる。

故障かな？と思ったら(つづき)

- 映像・音声入力端子付きテレビのときは、映像・音声コードもつなく。
- メニューの「各種設定1」で「自動ステレオ受信」を「入」にして録画する。(19ページ)
- 電波が弱いためモノラルで録画されていた。アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅する。

再生時に音声途切れ。

- テープに傷がある。

録画・予約

ダビングボタンを押すと、カセットが出てくる。

- カセットが録画できない状態になっている。ダビングしたいときは録画できる状態にする。(22,40ページ)
- 市販のビデオソフトはダビングできません。

録画ボタンまたは予約録画(入/切)ボタンを押すと、カセットが出てくる。

- カセットが録画できない状態になっている。録画したいときは録画できる状態にする。(40ページ)

裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。

- テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、本体表示窓の「ビデオ」を消す。

予約したのに録画されていない。

- 予約待ち中に1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す。(32ページ)

予約した内容が途中で切れている。

- 予約待機(予約録画待ち)中に停電が起きて、1時間以上回復しなかったため。1時間以内に回復すれば、回復時から終了時刻まで録画される。時計を合わせ直す。(32ページ)
- 予約が重なっていた。(16ページ)

予約した内容が途中から始まっている。

- 予約待ち中に停電があり、回復時から録画が行われたため。
- プロ野球中継など前の番組が延長されたため。

クイックタイマーが途中で終わっている。/途中が抜けている。

- 停電が起きたため。停電すると時間だけが減り続けるため、1時間以内に回復すれば残りが録画される。1時間以上回復しないと時計が止まるため残りは録画されない。時計を合わせ直す。(32ページ)

表示

メニューや画面表示が画面に出ない。

- テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビを「1チャンネル」か「2チャンネル」(放送の無いほう)にする。
- テレビの入力端子に本機の出力2端子をつなぐ。

テープカウンターが動かない。

- 録画されていない部分は動かない。

本体表示窓に「- : - -」が点灯している。

- リモコンで日付と時計を合わせ、本体に転送する。
- 1時間以上の停電で時計が止まっている。時計を合わせ直す。(32ページ)
- 予約の手順を途中でやめてしまった。予約取消しボタンを押す。

リモコン

リモコンが働かない。

- 電池が消耗している。
- 電池が入っていない。
- 本体の電源を入れる。
- リモコンを本体に向けて操作する。
- 本体とリモコンのリモコンモードを合わせる。(32ページ)

本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製ビデオが同時に動いてしまった。

- 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本体とリモコンのリモコンモードを変える。

テレビを操作できない。

- リモコン信号をお手持ちのテレビに合わせる。(38ページ)
- テレビのリモコンを使う。

ヘッドのお手入れ - きれいな画像にするために

約20時間使ったら、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLH(8ミリ用)とT-25CL(VHS用)で、ヘッドをクリーニングしてください。クリーニングカセットは、お買い上げ店やお近くのソニーショップでお求めください。

次のような症状が出たら、すぐにヘッドをクリーニングしてください。ヘッドが汚れています。

- 画像がザラついたり、不鮮明になる。
- 画像が出なかったり、灰色の画面になる。

ご注意

- クリーニングしても正常な画像に戻らないときは、くり返しヘッドをクリーニングします。ただし、5回以上くり返さないでください。それでも正常にならないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。ヘッド交換が必要なため、お買い上げ店またはお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。
- 湿式のクリーニングカセットは使わないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機は8ミリデッキのヘッドが汚れると画面に「ヘッドクリーニング中です」と表示が出ます。その後、本体内部で約30秒間、自動的にヘッドクリーニングが行われます。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はビデオデッキの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保存しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名：WV-H3

故障の状態：できるだけ詳しく

お買い上げ年月日：

お買い上げ店

TEL

お近くのサービスステーション

TEL

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャンFM方式
ハイファイ録音方式	回転2ヘッドハイファイステレオ方式(VHS従来音声トラックはモノラル録音)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
テープ速度	8ミリ: 14.3 mm/秒(SP)、7.2 mm/秒(LP) VHS: 33.4 mm/秒(標準)、11.1 mm/秒(3倍)
使用可能テープ	8ミリ: ハイエイト方式、スタンダード8ミリ方式のビデオカセットテープ VHS: VHS方式のビデオカセットテープ
最大録画時間	8ミリ(E6-180使用時): 3時間(SP)、6時間(LP) VHS(T-180使用時): 3時間(標準)、9時間(3倍)
早送り・巻戻し時間	8ミリ: 約2分15秒(E6-120使用時) VHS: 約3分(T-120使用時)
高速巻戻し時間(8ミリのみ)	約1分(E6-120使用時)
受信チャンネル	VHF: 1~12チャンネル UHF: 13~62チャンネル CATV: C13~C35チャンネル

入・出力端子

アンテナ入出力	VHF/UHF1軸、75 Ω F型コネクター
映像入力	ピンジャック、1 Vp-p(75 Ω 不平衡)
映像出力	出力1/出力2の2系統、ピンジャック、1 Vp-p(75 Ω 不平衡)
S映像入力	4ピンミニDIN、1 Vp-p(75 Ω 不平衡) 色信号: 0.286 Vp-p(75 Ω 不平衡)
S映像出力	出力1/出力2の2系統、4ピンミニDIN、1 Vp-p(75 Ω 不平衡) 色信号: 0.286 Vp-p(75 Ω 不平衡)

音声入力	ピンジャック(左、右) 入力レベル: 327mVrms(入力インピーダンス: 47 kΩ 以上)
音声出力	出力1/出力2の2系統、ピンジャック(左、右) 出力レベル: 327mVrms(出力インピーダンス: 10 kΩ 以下)

電源部・その他

電源部	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	34 W、6 W(電源「切」時)
補助電源コンセント	非連動(最大200 W)
時計方式	クォーツクロック、12時間デジタル表示
停電補償時間	1回 約1時間以内
許容動作温度	5 ~ 40
許容保存温度	-20 ~ 60
最大外形寸法	幅 430×高さ 120×奥行き 388 mm(最大突起含む)
本体質量	約 7.9 kg
付属リモコン	RMT-H3
付属品	電源: DC 3 V(単3形乾電池2個) 27ページ参照

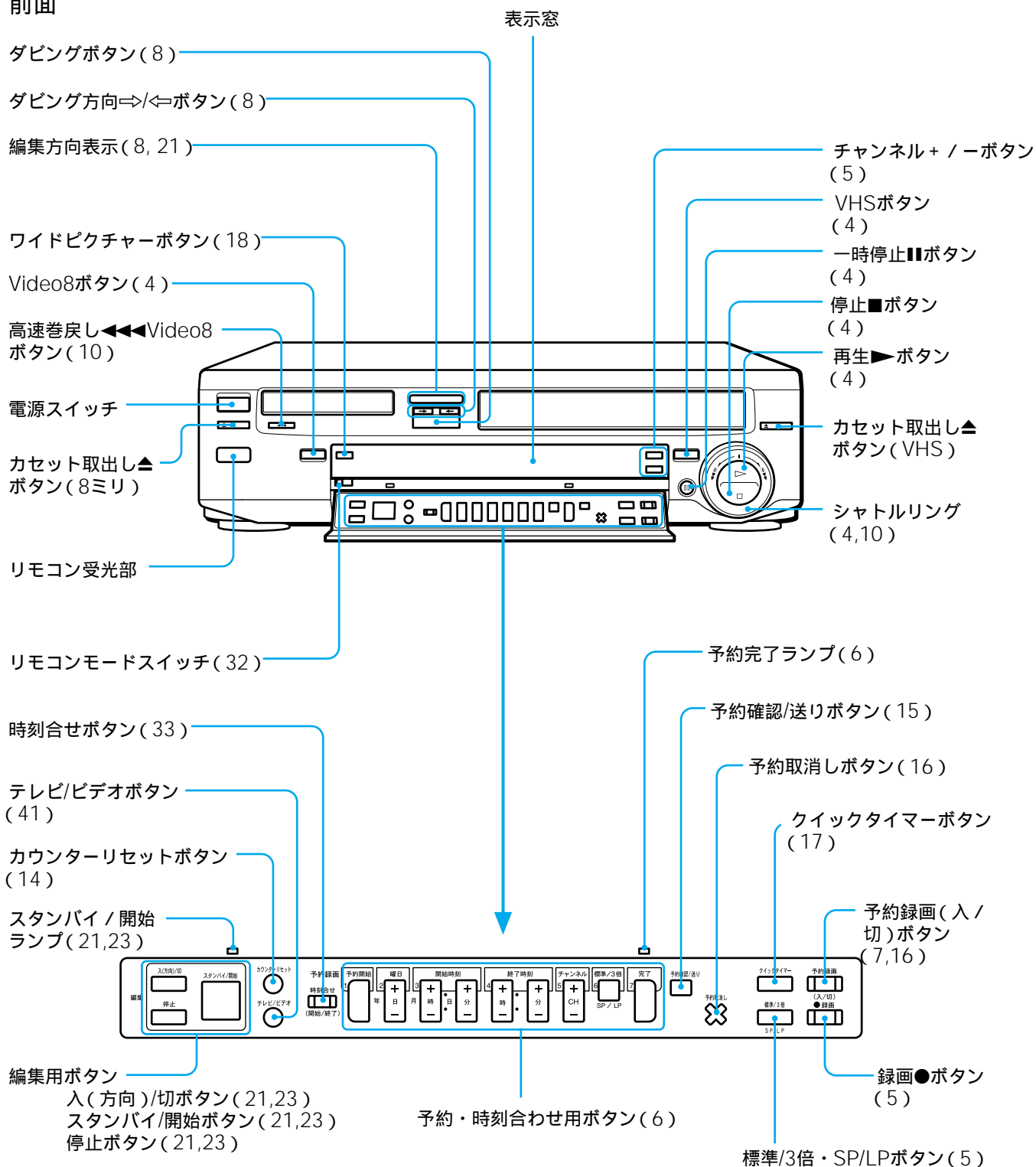
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

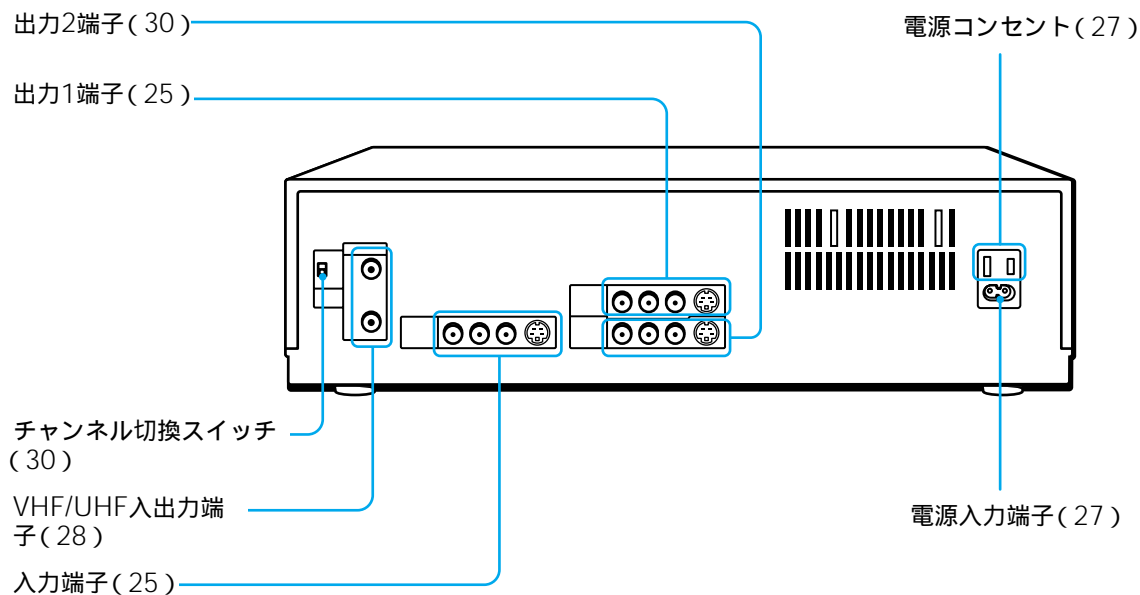
各部の説明は()内のページをご覧ください。

本体

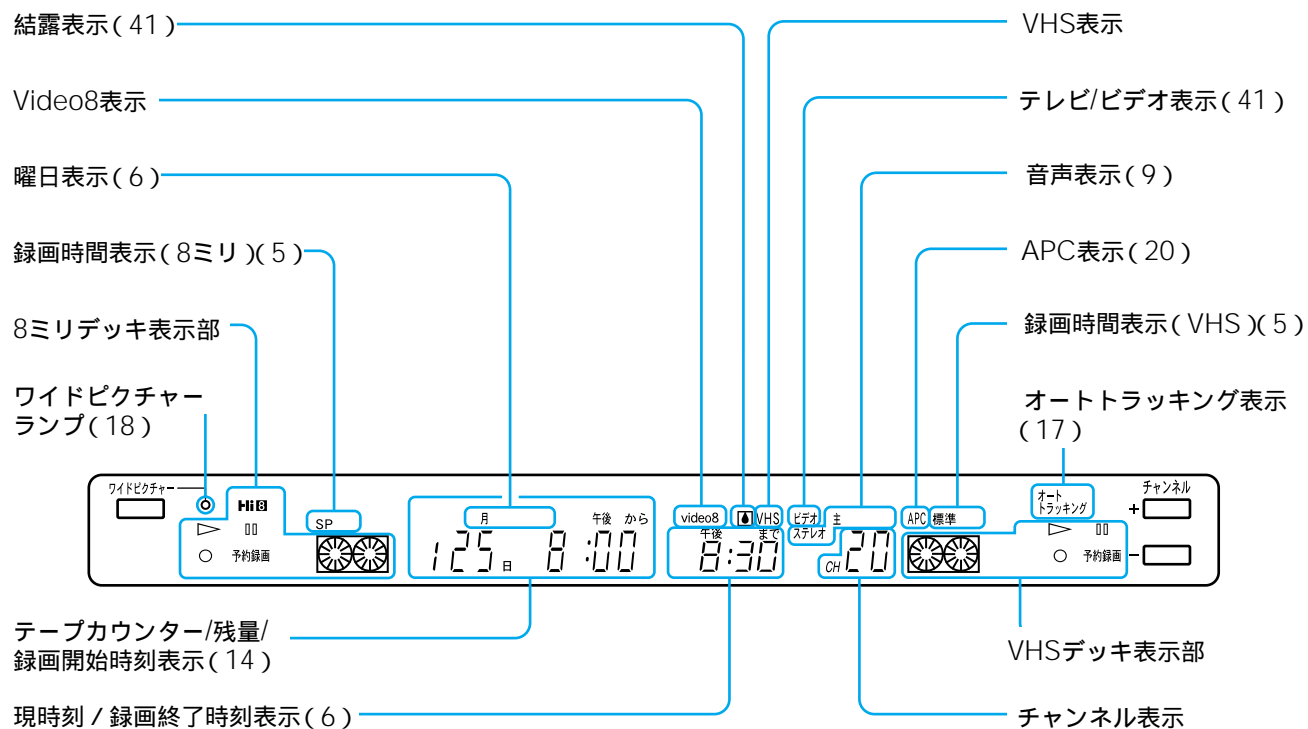
前面



後面



本体表示窓



その他

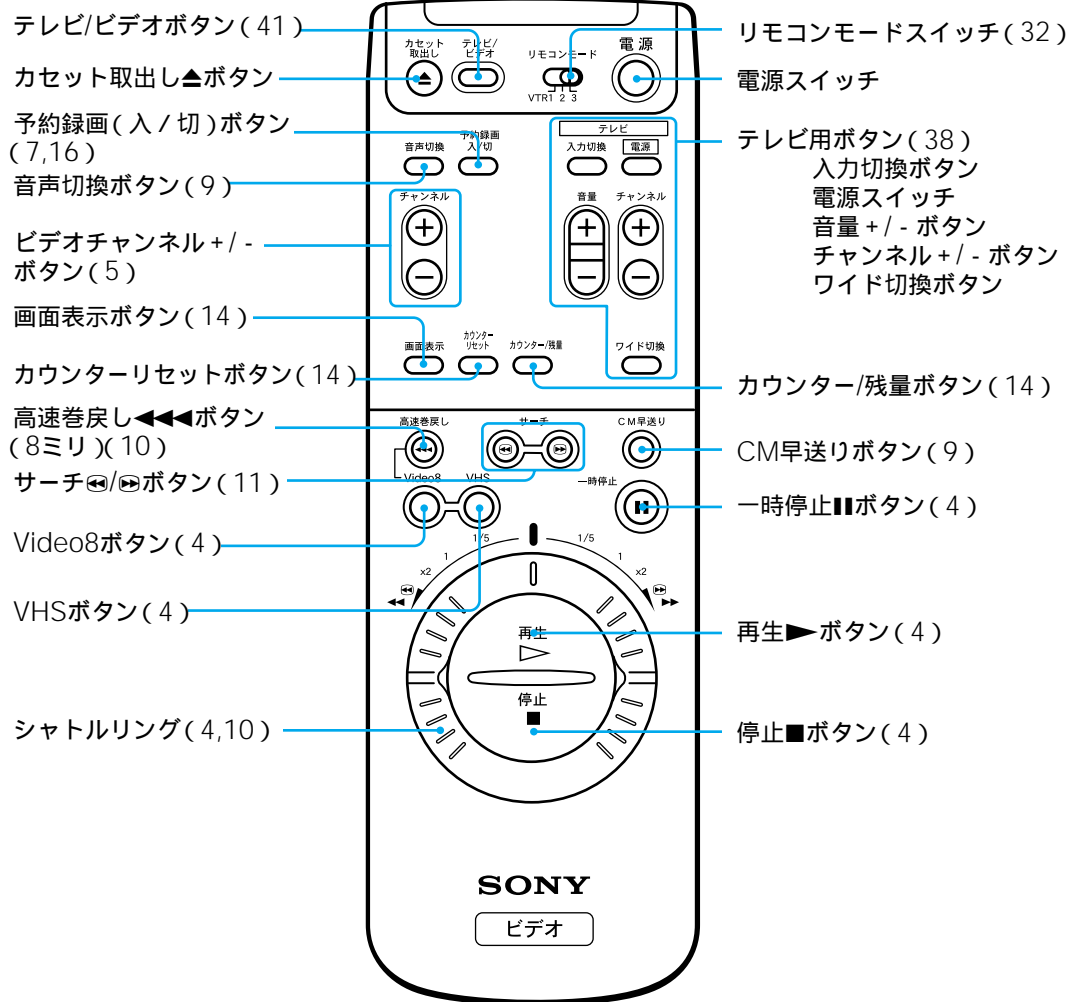
次のページにつづく

各部のなまえ(つづき)

リモコン

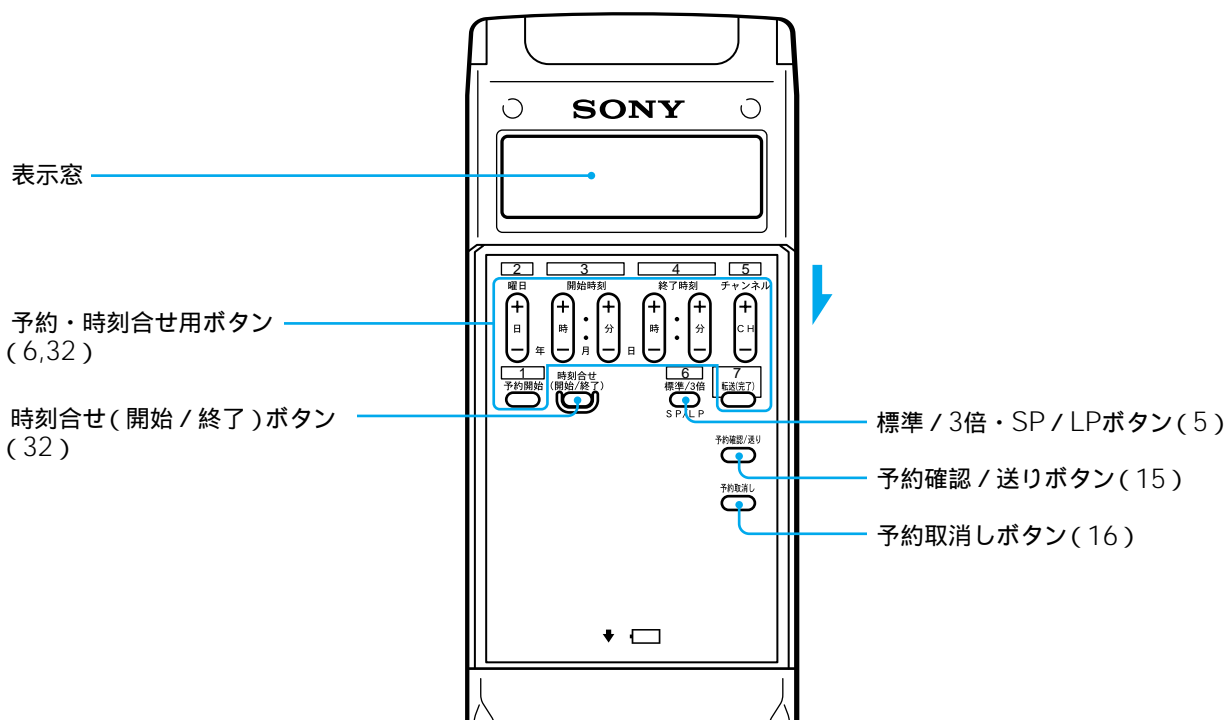
リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。

オモテ面

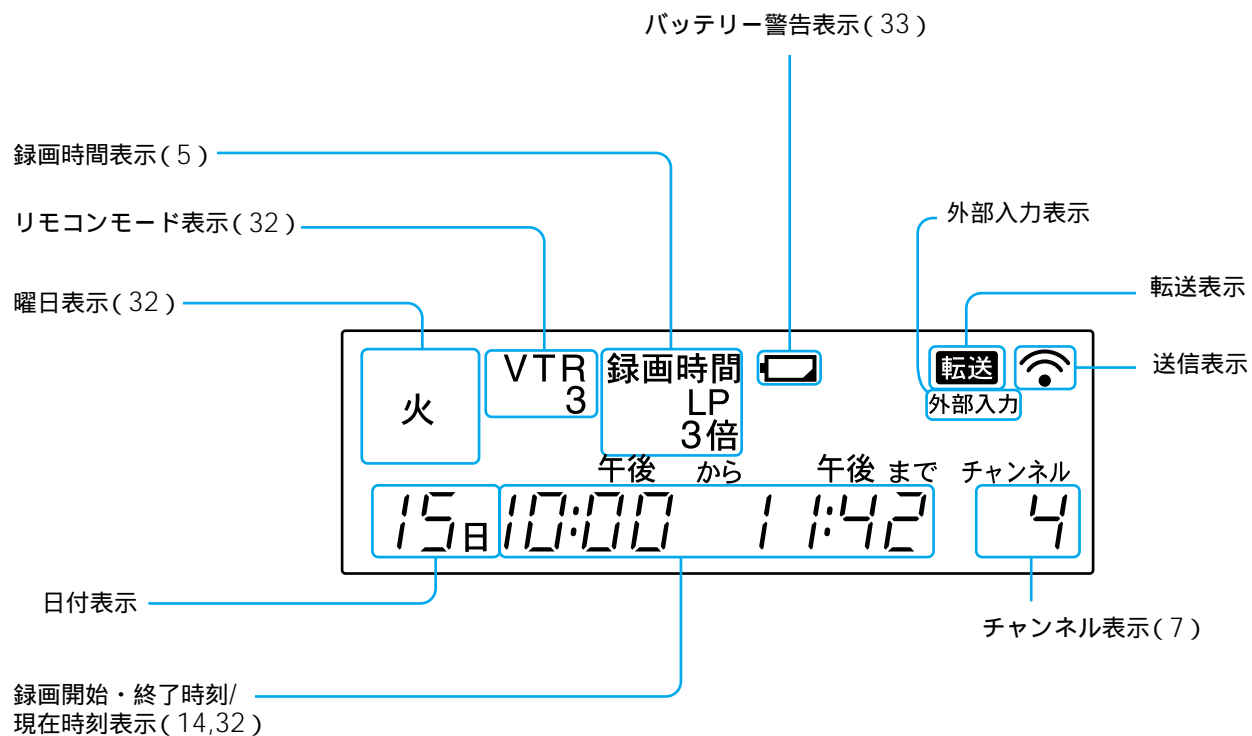


各部のなまえ(つづき)

ウラ面



リモコン表示窓



用語解説

五十音順

ア行

お知らせガイド

操作を間違えたときなどに、画面に表示される説明です。

カ行

結露[㊦] (41ページ)

暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機のヘッドやテープに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて故障の原因になります。電源を入れたまま表示窓の[㊦]が消えるまで約1時間待ってください。

サ行

受信チャンネル

ビデオが放送局を受信したときのチャンネルです。新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号のこと。

タ行

トラッキング (17ページ)

テープに記録された信号をなぞって読みとるようにはすることです。ずれると再生時に画像がチラツいたり、雑音が入ったりします。

ナ行

ノーマル音声 (20ページ)

ハイファイでないVHSビデオで録画・再生するときやアフレコ機能のあるVHSビデオでアフレコするときに使われる音声です。

ハ行

ハイファイ音声

ハイファイビデオ(本機など)で再生したときに聞こえる高品質なステレオ音声です。

表示チャンネル (36ページ)

ビデオが放送局を画面に表示するときのチャンネルです。通常は受信チャンネルと同じ番号ですが、メニューで変更することができます。

ヘッド (43ページ)

テープに信号を記録したり、テープから信号を読みとる部分です。美しい画像を楽しむために定期的にクリーニングしてください。

ヤ行

予約待機

予約をすると、表示窓に「予約録画」が出て電源が切れます。これが予約待機(予約録画待ち)の状態です。予約した時間になると自動的に録画が行われます。

アルファベット順

APC (20ページ)

他機で録画したVHSテープやレンタルビデオを、テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質で再生・録画します。Adaptive Picture Control(アダプティブピクチャーコントロール)の略。

索引

五十音順

ア行

頭出し 12
アンテナ切りかえ 19
一時停止■ 4
裏番組を見る 5
映像・音声コード 25,30
お知らせガイド 19
オートプレイ 10
おまかせダビング 8
音声切換 9

カ行

カウンター 14
外部入力 25
各種設定 19
画面表示 14
クイックタイマー 17
クリーニングカセット 43
高速巻戻し 10
コマ送りで見ると 13
コンセント 27

サ行

サーチ 11
再生 4
 ×2再生 10
 コマ送り再生 13
 スロー再生 13
再生・録画方式 40
残量表示 14
時刻合わせ 32

ジャストクロック 35
シャトルエディット 24
自動画面表示 19
自動ステレオ受信 19
手動チャンネル合わせ 36
受信チャンネル 36
信号図 19
スローで見る 13
整合器 27,31

タ行

ダビング 8,21
チャンネル合わせ 34
チャンネル設定を変える 36
チャンネルとばし 37
長時間録画 5
テープカウンター 14
テープリターン 14
電源コンセント 27
テープ残量切りかえ 14
時計合わせ 32
トラッキング 17

ナ行

二か国語放送 9
入力／出力端子 25,30

ハ行

微調整 39
表示チャンネル 36
表示窓の明るさ 20
標準 5
ヘッド 43

編集 23

マ行

見る 4
メニュー 19

ヤ行

予約する 6
 確認 15
 変更 15
 取り消し 16
予約が重なったとき 16
予約した後に本機を使うとき 7

ラ行

リモコン 32
リモコンモード 32
録画 5

アルファベット順

APC 20
CM早送り 9
「L」 5
×2 10
3倍 5

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111